2-655-612-**01**(1)

ロケーションフリーベースステーションパック
ロケーションフリープレイヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

本書をご覧になる前に「安全のために」(別紙)を必ずお読みください。

NET AV

LF-PK1
LFA-PC2

目 次

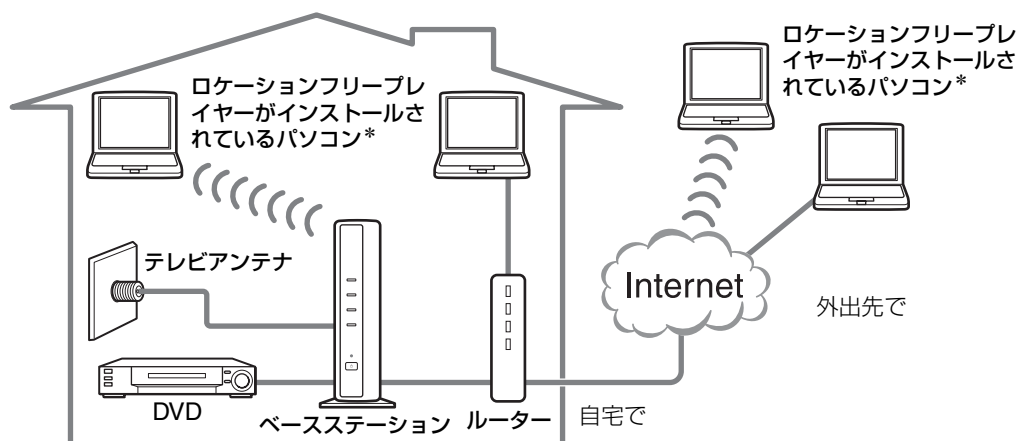
ちょっと一言

- 取扱説明書内の画面イラストはイメージです。

ロケーションフリーベースステーションとは？

パソコンなどのロケーションフリー機器*にロケーションフリープレイヤーをインストールすれば、外出先からインターネットを介して自宅のベースステーションにアクセスし、自宅と同じテレビ番組やビデオを視聴することができます。
また、リビングなどにベースステーションを置き、家庭内 LAN 経由で、家の中の好きな場所でテレビやビデオを楽しむこともできます。

*ロケーションフリー機器：ロケーションフリープレイヤーを搭載したパソコン、またはロケーションフリーテレビ。

NetAV： NetAV とは、ネットワーク経由でベースステーションの映像を受信する方法の 1 つです。NetAV を利用すると、家の中だけでなく、例えばホテルのブロードバンド回線や空港の公衆無線 LAN から、インターネットを経由して自宅のテレビやビデオを視聴することができます。

ちょっと一言

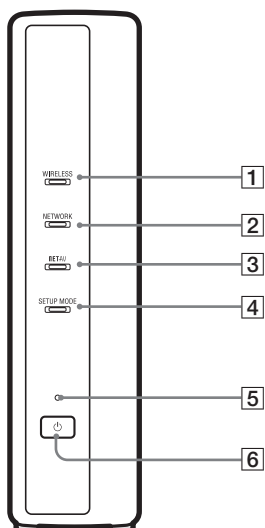
- ISDN/ アナログ電話回線、携帯電話 /PHS からの接続では、NetAV 機能は利用できません。
- コピーライトプロテクトがかけられたビデオ、DVD などのソフトによっては、視聴ができない場合があります。
- 本機のベースステーションは、電源が入っているときは常に電波を出しています。
- NetAV 機能を使用する場合、上り下りの実効速度 300 kbps 以上のブロードバンド回線を推奨します。
- ベースステーションには、ロケーションフリーテレビ LF-X5（別売り）のモニターを接続することができます。LF-X5 のモニターをベースステーションに登録する場合は、ベースステーション LF-B1 の設定情報（ドメイン名、ポート番号、登録パスワード）を LF-X5 のモニターに設定する必要があります。詳しくは、LF-X5 の取扱説明書または本書「ロケーションフリー機器をベースステーションに登録する」（☞ 44 ページ）をご覧になるか、ロケーションフリーのホームページ（http://www.sony.co.jp/airboard/QA/）をご覧ください。
  また、LF-X5 のモニターを接続する場合は、ベースステーションのワイヤレスチャンネルを 2.4 GHz 帯のチャンネルに設定してください。
- プロキシサーバー経由では、NetAV はできません。

ご注意

- 本機は 2.4 GHz/5 GHz 帯*のワイヤレス通信を使用します。ワイヤレス LAN 機器や電子レンジのように周囲に電波を出す機器があったり、壁や床などの材質によっては、通信が不安定になることもあります。また、医療機器などのそばでは利用しないようにしてください。詳しくは、「安全のために」（別紙）の「ワイヤレス通信に関するご注意」、本書の「ベースステーションのワイヤレス設定を変更する」（☞ 45 ページ）をご覧ください。
- NetAV を使用するときは常に、自宅にあるベースステーションやルーター、接続している機器の電源を入れておき、インターネット経由で接続できるようにしておく必要があります。
- NetAV 機能は、個人で楽しむ目的以外では使用できません。
- 5 GHz 帯は新チャンネル 5150 ～ 5250 MHz（W52[36/40/44/48ch]）に対応しています。詳しくは、「安全のために」（別紙）の「ベースステーションのワイヤレス通信について」をご覧ください。

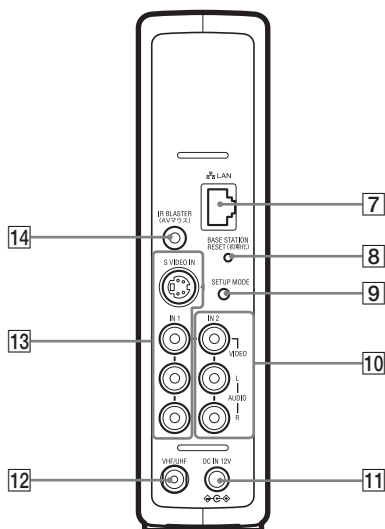
各部の名前とはたらき（ベースステーション）

ベースステーション正面

ベースステーション背面

1 ワイヤレスランプ
ワイヤレス通信の状態を示します。
青色点灯：5 GHz で通信しています。
緑色点灯：2.4 GHz で通信しています。
青色または緑色一瞬点灯、3 秒消灯：
ワイヤレスは有効ですが、ロケーションフリー機器とワイヤレス通信していません。

2 ネットワークランプ
インターネットなどの外部ネットワークへの接続状態を示します。
緑色遅く点滅：接続準備をしています。
緑色点灯：接続しています。
なお、データの送受信中は速く点滅します。
消灯：接続していません。

3 NetAV ランプ
ロケーションフリー機器と接続されたときに接続状態を示します。
緑色速く点滅：NetAV 認証失敗。
緑色遅く点滅：NetAV 接続の処理をしています。
緑色点灯：NetAV 接続しています。
橙色点滅：ダイナミック DNS 更新中。
橙色点灯：ダイナミック DNS 失敗。
消灯：NetAV 接続していません。
赤色点灯：ベースステーション初期化実行時。

4 セットアップモードランプ（☞ 12 ページ）
橙色点灯：セットアップモードになっています。
橙色点滅：かんたん機器登録が可能です。

5 電源ランプ（☞ 13 ページ）
ベースステーションの電源が入っているときに緑色に点灯します。
また、異常時は赤色で速く点滅します（☞ 49 ページ）。

6 電源スイッチ（☞ 13 ページ）
ベースステーションの電源の入 / 切を行います。

7 LAN 端子
LAN ケーブルをつなぎます。

8 ベースステーション初期化ボタン（☞ 50 ページ）
ベースステーション内のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

9 セットアップモードボタン（☞ 12 ページ）
ロケーションフリー機器の登録、ベースステーションの設定をするときに押します。

10 ビデオ入力 2（映像・音声）端子（☞ 9 ページ）
音声・映像コードをつなぎます。

11 DC IN 端子（☞ 13 ページ）
付属の AC パワーアダプターをつなぎます。

12 VHF/UHF 端子（☞ 7 ページ）
アンテナ接続ケーブルをつなぎます。

13 ビデオ入力 1（S 映像・映像・音声）端子（☞ 9 ページ）
S 映像コードと音声コード、または音声・映像コードをつなぎます。

14 AV マウス端子（☞ 10 ページ）
付属の AV マウスをつなぎます。

ベースステーションの準備

準備 1
箱の中身を確かめる

箱を開けたら、次の物がそろっているか確認してください。
（　）内は個数を表します。

LFA-PC2、LF-PK1 の両方に入っているもの

- かんたん準備ガイド（1）
- ダイナミック DNS 利用に関するお知らせ（1）

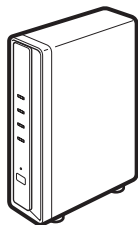
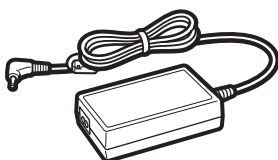
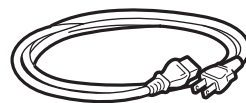
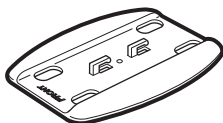
LFA-PC2 に入っているもの

- ロケーションフリープレイヤーソフトウェア CD-ROM（1）

- ロケーションフリープレイヤー LFA-PC2
- 取扱説明書
- ライセンス文

- ロケーションフリープレイヤーシリアルキー（CD-ROM ケースに記載）

LF-PK1 に入っているもの

- ロケーションフリーベースステーション LF-B1（1）
- AC パワーアダプター AC-LX1B（1）
- 電源コード（1）

- スタンド（1）
- アンテナ接続ケーブル（1）
- AV マウス（1）

- ロケーションフリープレイヤー PC 用ソフトウェア CD-ROM　30 日お試し版*（1）
  - 取扱説明書
  - ライセンス文
- 保証書（1）
- 安全のために（1）
- 「使用上のご注意」シール（1）

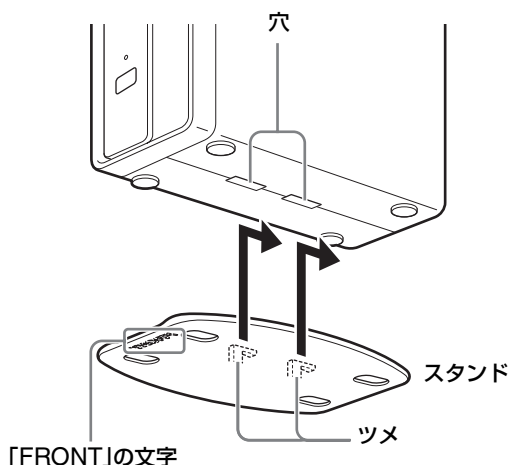
* LF-PK1 に付属しているロケーションフリープレイヤーソフトウェアは 30 日間お試し版です。引き続きお使いいただく場合は、ロケーションフリープレイヤー LFA-PC2 をお買い求めください。

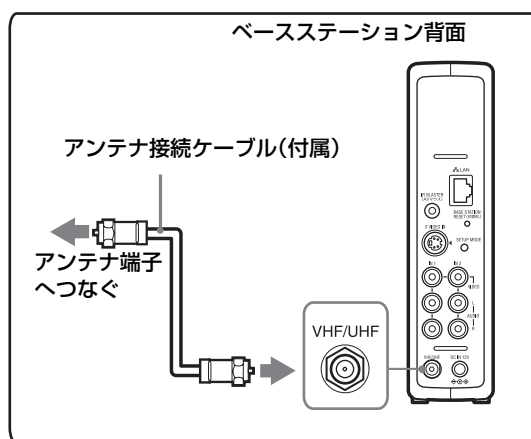
準備 2 ベースステーションにスタンドを取り付ける

ベースステーションを設置したときに安定するように、付属のスタンドを取り付けて使用してください。

ご注意

- ベースステーションの側面のシールには、SSID、WEP キー、初期パスワードが記載されています。これらの情報は、ベースステーションの設定を行うときやワイヤレスで接続するときに必要です。ベースステーションの側面をすぐに見られるように設置してください。
- ベースステーションは壁から 10 cm 以上離して設置してください。

スタンドの「FRONT」と書かれた方がベースステーションの前面にくるように向け、スタンドのツメをベースステーション底面の穴に差し込み、後方にスライドして固定する。

準備 3 テレビアンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形によって異なります。
壁のアンテナ端子の形によっては、別売りの変換コネクターや分配器などが必要です。詳しくは、販売店などにご相談ください。

きれいな画像を楽しむために

本機で安定した画像を楽しむためには、アンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- ベースステーション背面の VHF/UHF 端子への接続は、付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
- 壁のアンテナ端子の形状によっては、付属のアンテナ接続ケーブルが使用できないことがあります。その場合は別売りの変換コネクターや分配器などが必要です。詳しくは、販売店などにご相談ください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。
フィーダー線をご使用になる場合は、ベースステーションからできるだけ離してください。

ケーブルテレビをつなぐ場合は

ケーブルテレビの方式により、接続や準備の方法が異なります。ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
本機でケーブルテレビを見るときは、本機のビデオ入力端子にケーブルテレビのホームターミナルをつないでください。

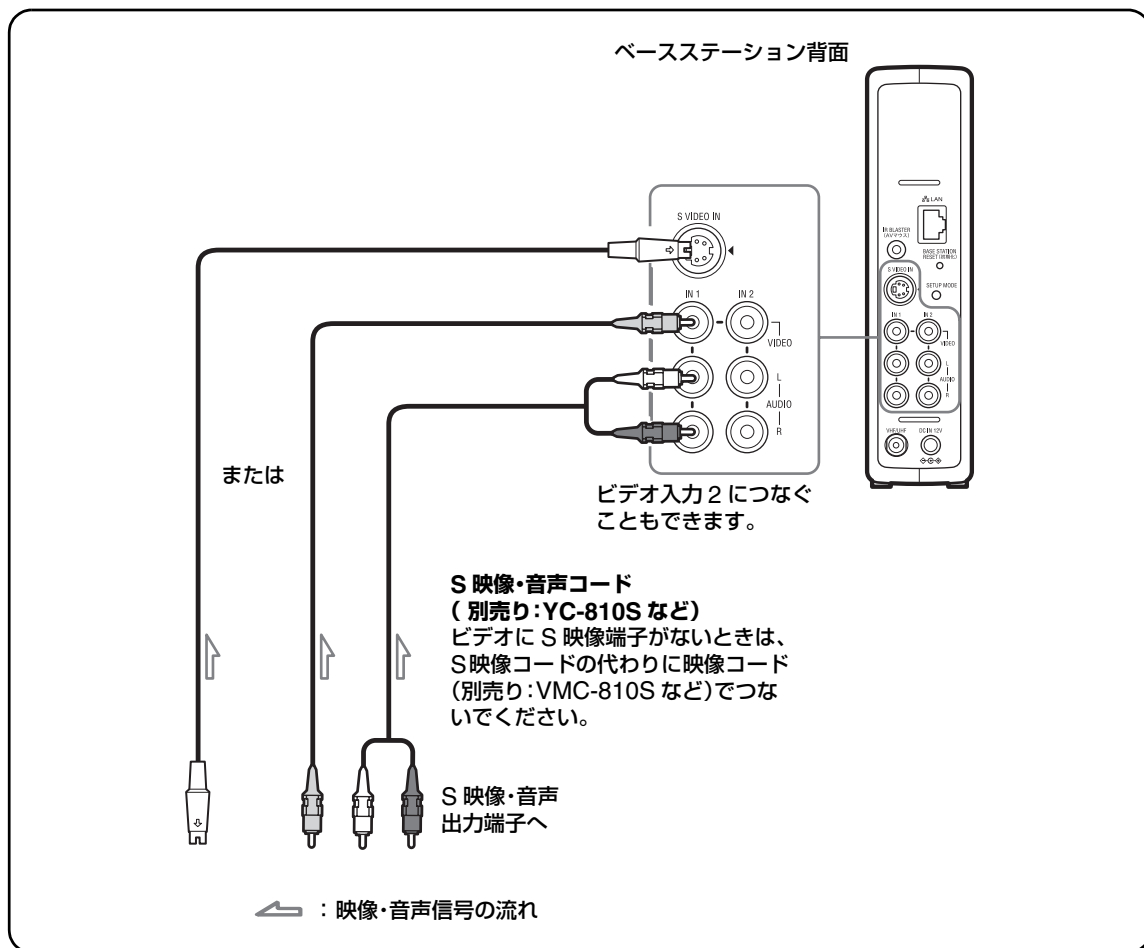
ご注意

ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル（放送の内容が見られないようにするための処理）のかかった有料放送の視聴には、別途ホームターミナルが必要になります。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示にしたがって、接続および受信方法の設定を行ってください。

準備 4
他機器をつなぐ

ビデオ、AV アンプ、DVD プレイヤー / レコーダー、デジタルチューナーなど、映像・音声出力端子のある機器を接続できます。
つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

つないだ機器の映像を見るには

インデックス画面を表示し、つないだビデオ入力端子に応じて［ビデオ入力 1]、［ビデオ入力 2］ボタンを選びます。

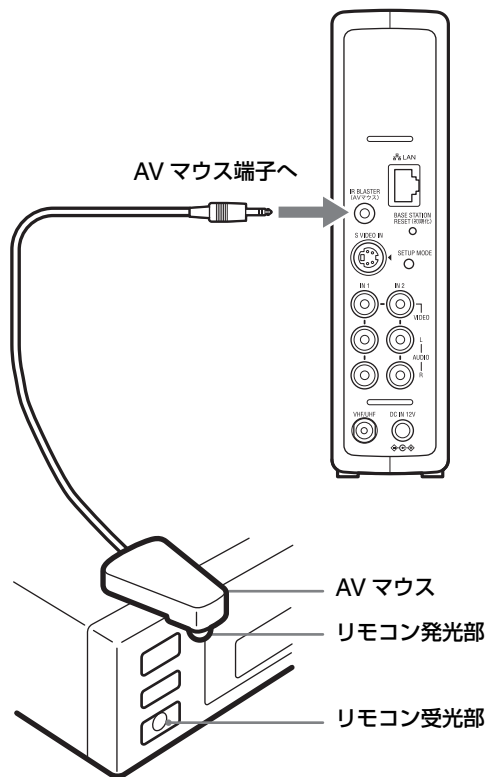
ちょっと一言

ロケーションフリープレイヤーから他機器を操作するには、付属の AV マウスを接続する必要があります。
次ページをご覧ください。

ご注意

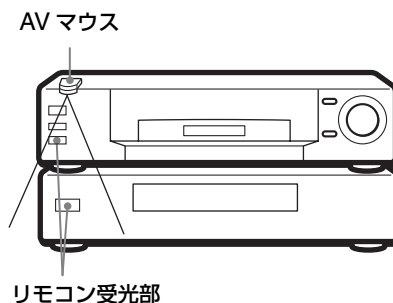
DVD プレイヤーをビデオデッキ経由で本機につないだときは、ビデオデッキの録画防止機能（コピーガード）が働き、DVD の映像が乱れたり、暗くなったりすることがあります。DVD プレイヤーは本機のビデオ入力端子に直接つないでください。

AV マウスを接続する

ベースステーションにつないだ機器に付属の AV マウスを取り付けます。
AV マウスを取り付けると、画面上のリモコンでつないだ機器を操作できるようになります。

つないだ機器の取扱説明書をご覧になって、リモコン受光部の位置を確認し、受光部の近くに AV マウスを置きます

ご注意

AV マウス裏面のシールは、まだはがさないでください。
ロケーションフリープレイヤーのリモコン設定（☞ 31 ページ）が終わった後に、シールをはがして AV マウスを機器に固定してください。

AV マウスで 2 台の機器を操作するには、AV マウスと機器を次のように配置します。

ご注意

機器の設置については、それぞれの機器の取扱説明書をご確認ください。

2 台の機器のリモコン受光部の位置が離れていて、付属の AV マウスだけでは操作できないときは、別売りのプラグアダプター PC-230M と AV マウスが必要です。
プラグアダプターをベースステーションの AV マウス端子につなぎ、AV マウスをそれぞれプラグアダプターの端子につないでください。

ちょっと一言

- AV マウスがベースステーションにつないだ機器まで届かない場合は、別売りの接続コード RK-G131（3m）で延長してください。
- ビデオなど、ソニー製品のリモコン受光部には R マークが付いています。
- 1 つのビデオ入力端子に対して、画面上のリモコンを 2 種類設定できます。ベースステーションに直接接続した機器とその機器を通して入力した機器の 2 台を、画面上のリモコンで操作できます（☞ 27 ページ）。

接続と設定の流れ

以下の手順にしたがって、接続と設定をしてください。

STEP1
家の中でテレビを見るための準備と設定

STEP1-1　ベースステーションの電源を入れる（☞ 13 ページ）

STEP1-2　ベースステーションとロケーションフリー機器を接続する（☞ 14 ページ）
- ワイヤレスでベースステーションに直接接続する（☞ 15 ページ）
- ルーターを使って接続する（☞ 15 ページ）

STEP1-3　ロケーションフリー機器でテレビを映す（☞ 16 ページ）

STEP2
外出先からテレビを見るための準備と設定

STEP2-1　家の中のネットワーク環境を確認する（☞ 18 ページ）

STEP2-2　外から見るためのかんたん設定を行う（☞ 18 ページ）

NetAV テストがうまくいかなかったときは（☞ 21 ページ）

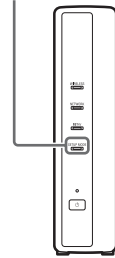
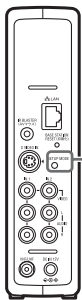
ベースステーションの状態

ベースステーションの状態には、「通常状態」と「セットアップモード」があります。
通常状態とセットアップモードの関係は、次のとおりです。

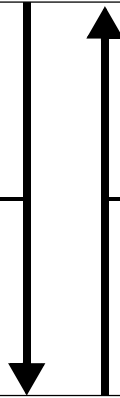
ベースステーションの電源スイッチを押す

通常状態（セットアップモードランプ消灯）

- 家の中や外出先から NetAV できます。
- ベースステーション設定はできません。*

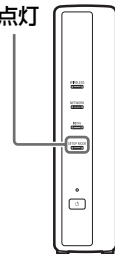
＊ベースステーションの「セキュリティ」画面（☞ 47 ページ）で「セキュリティ」を「常に有効（セキュリティレベル：低）」に設定した場合は、ルーター経由で設定できます。また、ワイヤレス接続でのベースステーションの設定はできます。

ベースステーション背面のセットアップモードボタンを押す

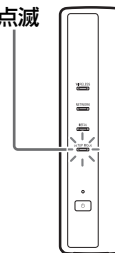
セットアップモードランプが点滅するまで押します。

- ベースステーションを再起動したとき
- ベースステーションの設定のページに 15 分間アクセスがなかったとき

セットアップモード（セットアップモードランプ点灯）

点灯

- 家の中や外出先から NetAV できません。
- ベースステーション設定ができます。*

＊セットアップモード時のワイヤレス接続には、ベースステーションの側面に貼られた SSID と WEP キーを使います。
なお、セットアップモード時、ワイヤレス LAN は 2.4 GHz 帯のチャンネルで動作します。

登録可能状態（セットアップモードランプ点滅）

- セットアップモードに入って初めの 5 分間のみ、ロケーションフリー機器の登録ができます（登録可能状態終了後もセットアップモードは維持されます）。
- 5 分過ぎて登録可能状態が終了したときは、もう一度ベースステーション背面のセットアップモードボタンをセットアップモードランプが点滅するまで押すと、登録可能状態になります。

STEP1
家の中でテレビを見るための準備と設定

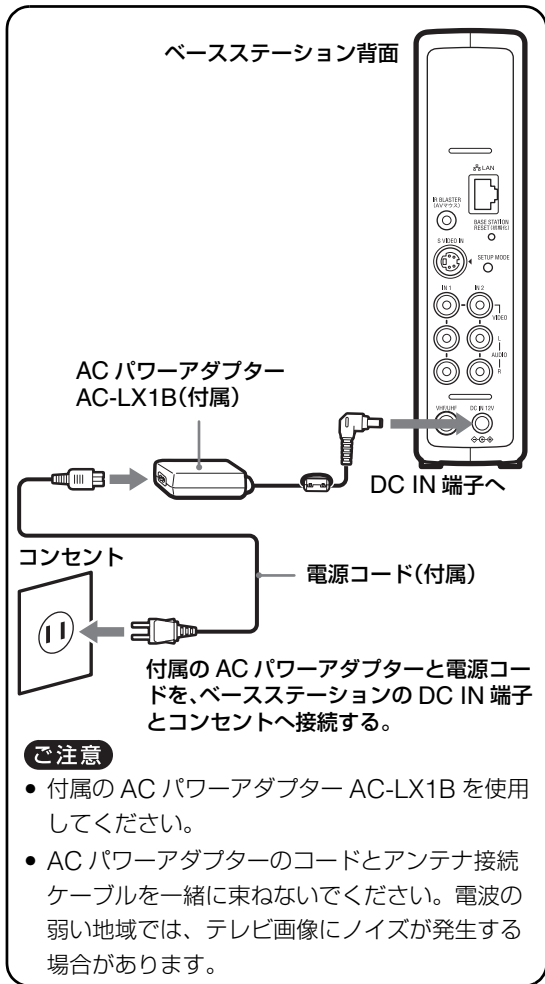
家の中で、NetAV でテレビやビデオ、DVD を見るための準備と設定をします。

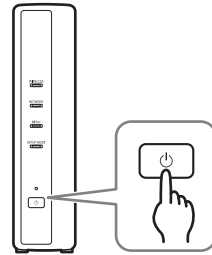
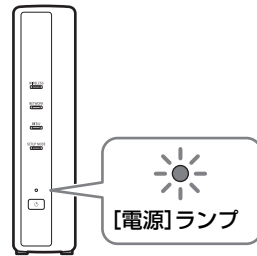
STEP1-1 ベースステーションの電源を入れる

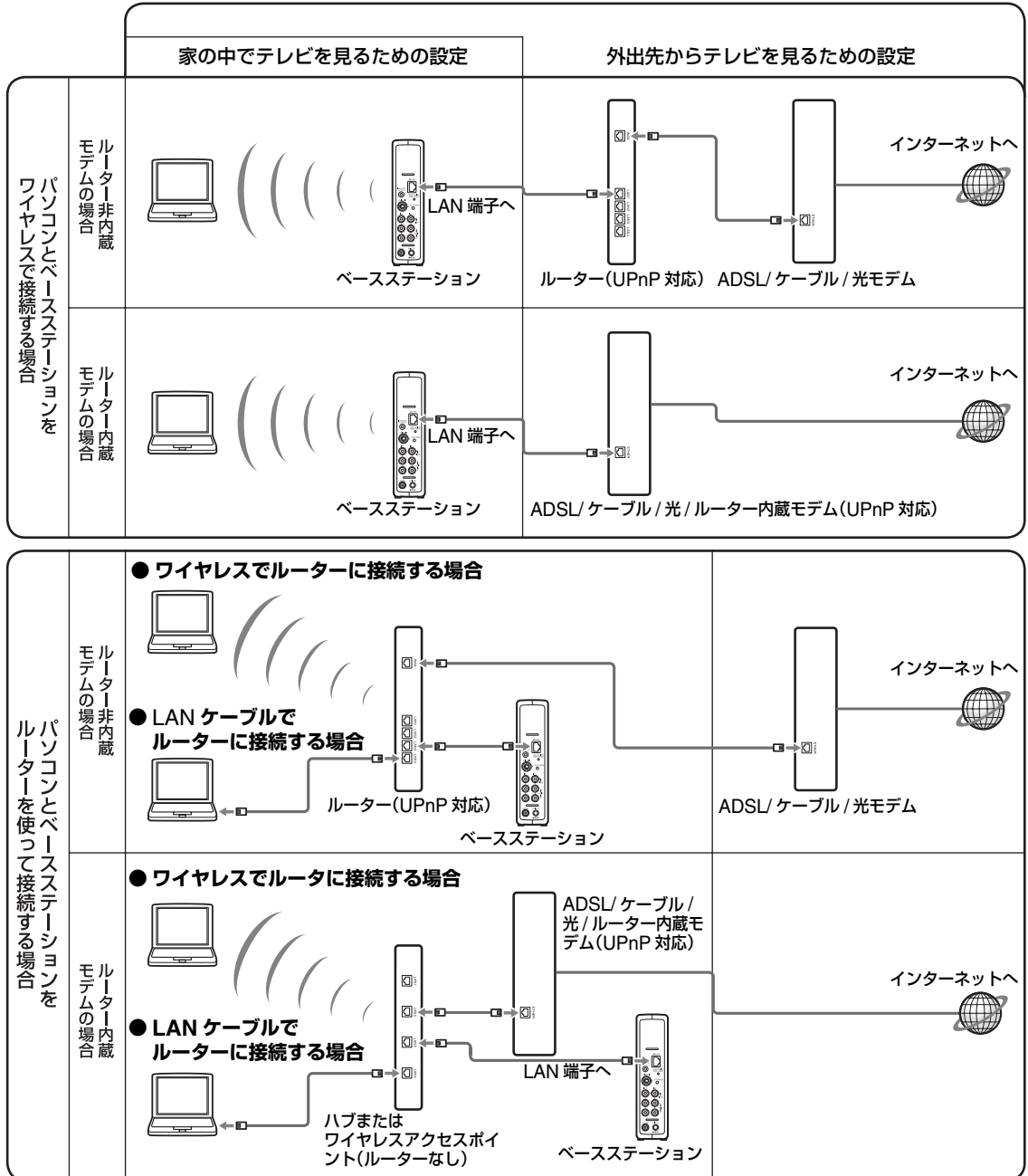
ベースステーションに電源コードをつなぐ

すべての配線が終わってから、電源コードをつなぎます。

ご注意

- 付属の AC パワーアダプター AC-LX1B を使用してください。
- AC パワーアダプターのコードとアンテナ接続ケーブルを一緒に束ねないでください。電波の弱い地域では、テレビ画像にノイズが発生する場合があります。

電源を入れる

ベースステーション正面にある[電源]スイッチを押して電源を入れる。

ベースステーション正面の［電源］ランプが緑色に点灯します。

STEP1-2
ベースステーションとロケーションフリー機器を接続する

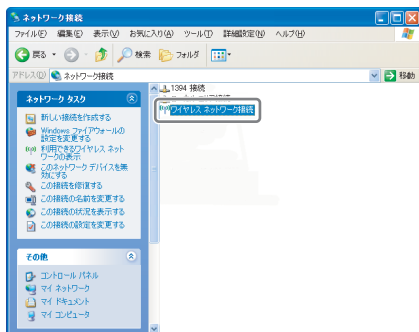
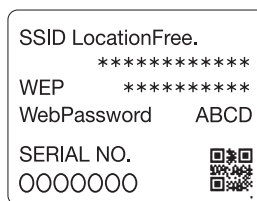
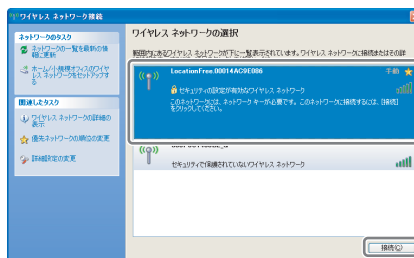
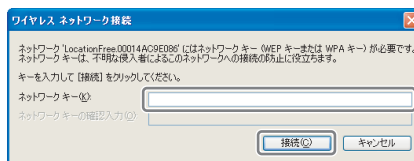
以下の図を参照し、お使いになる環境に合わせてパソコンの接続を確認して、次に進みます。

＊お使いのモデムのタイプについては、回線事業者に確認してください。

ロケーションフリー機器とベースステーションをワイヤレスで接続する

パソコンをワイヤレスでベースステーションに接続するには、パソコンのワイヤレスネットワーク接続を設定し、ベースステーションと通信できるようにします。
詳しくは、パソコンやワイヤレス LAN カードなど、ワイヤレス LAN 機器の取扱説明書をご覧ください。

ここでは、Windows XP Service Pack 2 の場合の設定を説明します。

1 Windows の[スタート]メニューから[コントロールパネル]－[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、[ネットワーク接続]をダブルクリックする。

2 [ワイヤレスネットワーク接続]をダブルクリックする。

3 ワイヤレスネットワークの一覧表示の中から、ベースステーションの側面に記載されている SSID と同じ SSID をクリックし、[接続]をクリックする。

4 ベースステーションの側面に記載されている WEP キーを入力し、[接続]をクリックする。

STEP1-3（16 ページ）に進んでください。

ロケーションフリー機器とベースステーションをルーターを使って接続する

有線でルーターにつなぐ場合

ルーターが DHCP 機能を利用して IP アドレスを割り当てるようになっている場合、パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていれば、パソコンとベースステーションを LAN ケーブルでルーターに配線するだけで接続できます。

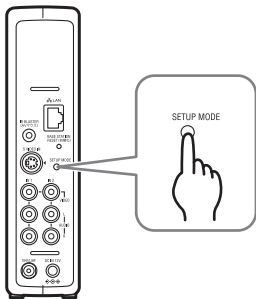
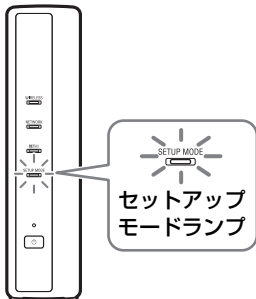
ちょっと一言

ベースステーション前面のネットワークランプが点灯していることを確認してください。消灯しているときは、ルーターの電源と LAN ケーブルの接続を確認してください。

ワイヤレスルーターの場合

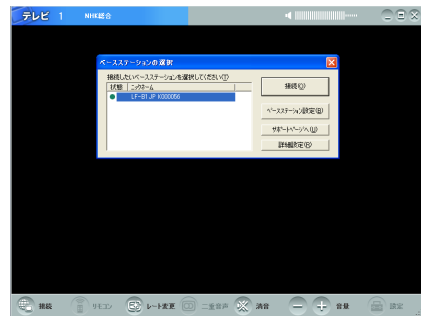
パソコンをワイヤレスルーターに接続します。

STEP1-3 ロケーションフリー機器でテレビを映す

1 ベースステーションの電源が入った状態で、ベースステーション背面にあるセットアップモードボタンを、セットアップモードランプが点滅するまで押し続ける。

セットアップモードランプが点滅します。

ちょっと一言

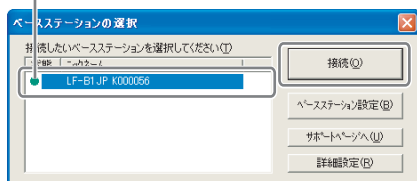
ルーターを使ってベースステーションに接続する場合、ベースステーションに DHCP で IP アドレスが割り当てられるまでに時間がかかることがあります。IP アドレスが割り当てられるまでは、手順 2 の画面にベースステーションは表示されません。ネットワークランプが点灯してから、手順 2 に進んでください。

2 パソコンのデスクトップにある (LocationFree Player)をダブルクリックする。

または、［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）－［Sony LocationFree Player J］－［LocationFree Player］をクリックします。ロケーションフリープレイヤーが起動し、「ベースステーションの選択」画面が表示されます。

ご注意

- パソコンにインストールされているセキュリティソフトによっては、起動時にセキュリティソフトがロケーションフリープレイヤーをブロックするかどうかの確認メッセージが表示されます。その場合はブロックしないように設定してください。
- 起動時に接続先のベースステーションが見つからなかった場合は、確認のメッセージが表示されます。セキュリティソフトの設定変更の詳細については、「ベースステーションの選択」画面で［サポートページへ］をクリックし、表示されるサポートページをご覧ください。

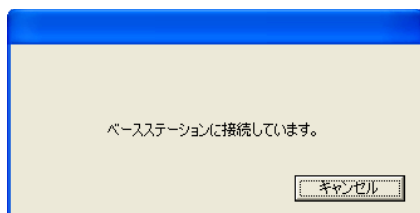
3 「ベースステーションの選択」画面で、リストから緑色のアイコンがついているベースステーションを選び、[接続]をクリックする。

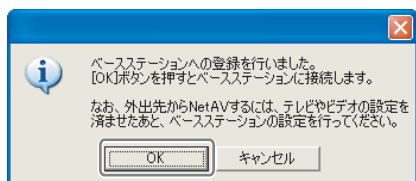
緑色のアイコン

ちょっと一言

ニックネームは、[詳細設定] をクリックして表示される画面で変更できます。

ご注意

セットアップモードボタンを押してからセットアップモードランプが点滅している間に [接続] をクリックしてください。5 分間以上経過すると、セットアップモードランプが点滅から点灯に変わり、機器登録を受け付けなくなります。セットアップモードランプが点灯に変わったときは、もう一度ベースステーション背面のセットアップモードボタンをセットアップモードランプが点滅するまで押しください。

ベースステーションへの接続を開始します。

自動的にベースステーションへの登録が始まります。

4 [OK]をクリックする。

ベースステーションへの接続が始まります。登録後、自動的にベースステーションが再起動します。ベースステーションに接続するまで、そのままお待ちください。

テレビチャンネルを設定するには、30 ページに進んでください。

外出先からテレビやビデオ、DVD などを見る場合は、次の「STEP2 外出先から NetAV するための準備と設定」に進んでください。

STEP2 外出先から NetAV するための準備と設定

外出先で、駅などの公衆無線 LAN やホテルの LAN を利用して、インターネット経由で自宅のテレビやビデオを見る（NetAV）ための準備と設定をします。

ご注意

- 外出先でインターネットに接続するには、この準備と設定を外出前に行ってください。
- 外出先でインターネットに接続するには、契約や申し込みが必要な場合があります。

STEP2-1 家の中のネットワーク環境を確認する

外出先からテレビやビデオ、DVD を見るには、ベースステーションをインターネット回線に接続する必要があります。ベースステーションは、光ファイバー回線や ADSL 回線、ケーブルテレビインターネットなどを使ってインターネットに接続できます。

ちょっと一言

- 外出先からテレビ / ビデオを見る NetAV 機能を使用する場合、ベースステーションの接続回線は、上り下り実効速度 300 kbps 以上のブロードバンド回線を推奨しています。使用している回線の実効速度については、契約しているプロバイダにお問い合わせください。
- 回線の速度が速いほど、NetAV で視聴する映像は高画質になります。

回線の接続のしかた

LAN ケーブル（別売り）を使って、ベースステーションの LAN 端子とルーターをつなぎます。
契約している回線事業者やプロバイダ、接続する機器によって接続方法が異なりますので、詳しくはご利用の回線事業者またはプロバイダにご確認ください。

ご注意

- 契約によっては、ベースステーションやパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。契約しているケーブルテレビ会社や ADSL 事業者、プロバイダへ確認してください。
- 使用する LAN ケーブルの種類については、ルーターやケーブルモデム、ADSL モデムなどの取扱説明書を参照してください。
- 接続についての詳細は、ルーターやケーブルモデム、ADSL モデムなどの取扱説明書もあわせて参照してください。不明な点は、利用している回線事業者、ケーブルテレビ会社またはプロバイダにお問い合わせください。
- 下記のホームページでも、接続に関する情報をご案内しています。
  http://www.sony.co.jp/airboard/QA/

STEP2-2 外から見るためのかんたん設定を行う

この設定は、外出前に行います。

NetAV 機能を設定する

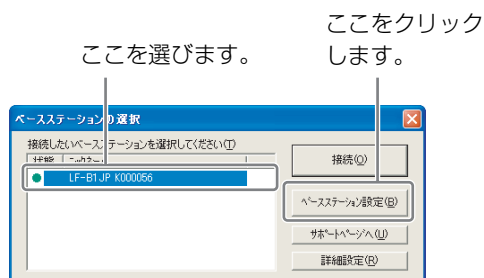
ルーターを使ってパソコンとベースステーションを接続する場合（☞ 14 ページ）は、ベースステーションをセットアップモードにしてください。（☞ 16 ページ）

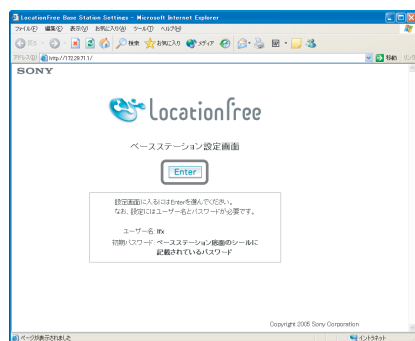
1 パソコンのデスクトップにある (LocationFree Player)をダブルクリックする。

または、［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）－
［Sony LocationFree Player J］－
［LocationFree Player］をクリックします。
ロケーションフリープレイヤーが起動し、「ベースステーションの選択」画面が表示されます。

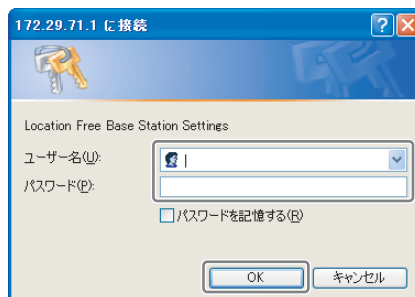
ちょっと一言

すでにロケーションフリープレイヤーを起動しているときは、画面左下の［切断］をクリックし、いったん接続を切断してから、再度［接続］をクリックしてください。

2 緑色のアイコンがついているベースステーションを選び、[ベースステーション設定]をクリックする。

Web ブラウザが起動して、「ベースステーション設定」画面が開きます。

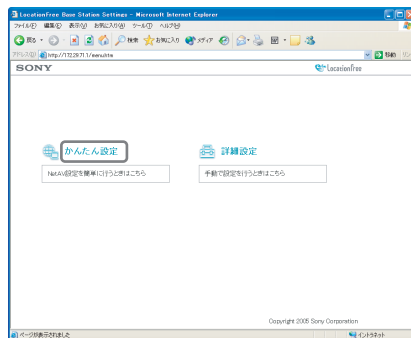
3 [Enter]をクリックする。

パスワードの入力画面が表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]を選ぶ。

ユーザー名：lfx（エル・エフ・エックス）
（ユーザ名は変更できません）
初期パスワード：ベースステーション側面のシールに記載されている「WebPassword」。

ベースステーション設定にログインし、設定メニュー画面が表示されます。

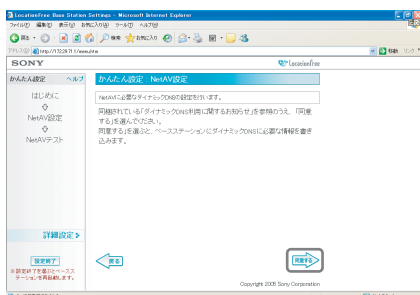
5 [かんたん設定]をクリックする。

「かんたん設定」画面が表示されます。

接続と設定

6 画面にしたがってネットワークランプが点灯していることを確認し、[次へ]をクリックする。

ちょっと一言

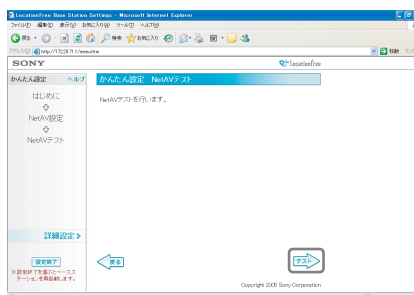
ネットワークランプが消灯しているときは、ルーターの電源と LAN ケーブルの接続を確認してください。

7 同梱されている「ダイナミック DNS 利用に関するお知らせ」を読み、[同意する]をクリックする。

[同意する］をクリックすると、ダイナミック DNS に必要な情報をベースステーションに書き込みます。

8 画面にしたがって NetAV ランプの点滅(橙色)が終わるのを待ち、NetAV ランプが消灯したら[次へ]をクリックする。

ちょっと一言

- NetAV ランプの点滅が終わるまで 1 分程度かかります。
- NetAV ランプが橙色に点灯したときは、ルーターやモデムの電源と LAN ケーブルの接続を確認してください。
- NetAV ランプが緑色に点灯したときは、他の機器が NetAV に接続しています。橙色になるまで待ってから行ってください。
- プロキシサーバー経由では、NetAV はできません。

9 [テスト]をクリックする。

NetAV テストが開始されます。
NetAV テスト画面で「成功しました。」と表示されれば設定完了です。
NetAV テスト画面が表示されない場合は、ネットワークの接続を確認してください。

10 **[設定終了]をクリックする。**

ベースステーションが再起動します。
ブラウザを閉じてください。

NetAV テストがうまくいかなかったときは

NetAV テスト画面の説明をご覧になり、必要な設定を行ってください。

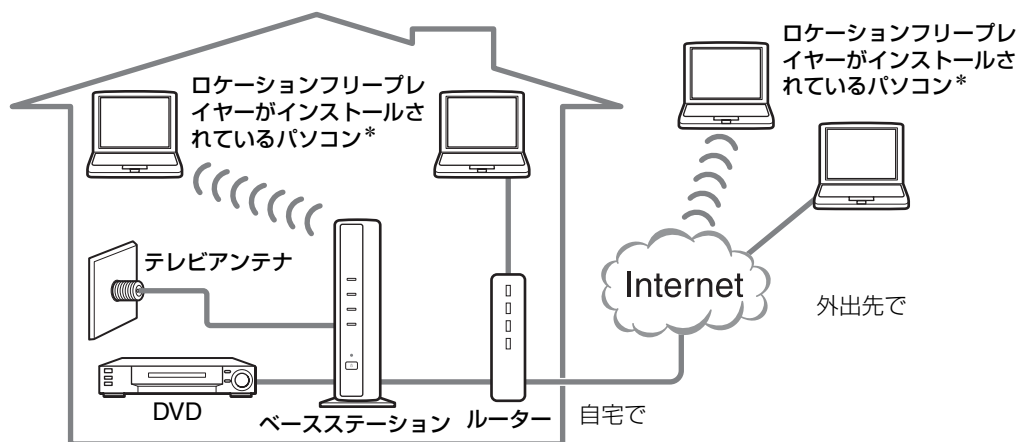
外出先から NetAV 機能を使う設定には「かんたん設定」と「詳細設定」の 2 種類があり、「かんたん設定」を行うには、ルーターが UPnP 対応で、かつルーターの UPnP 機能が有効に設定されている必要があります。ルーターの取扱説明書をご覧になり、お手持ちのルーターの設定を確認してください。

お手持ちのルーターが UPnP に非対応の場合やルーターの UPnP 機能を使用しない場合、または UPnP 機能を使ってうまく設定できない場合は、ルーターのポートフォワーディング設定が必要になります。

ちょっと一言

- ルーターのポートフォワーディング設定を行うには、ベースステーションの「詳細設定」にある「回線設定」で IP アドレスを固定する必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書、および「UPnP 非対応のルーターをお使いの場合」（☞ 41 ページ）をご覧ください。
- UPnP 対応のルーターの中には、特定のメッセンジャーサービスやゲームのみに対応したものがあります。その場合は、ルーターのポートフォワーディング設定を行ってください。

ロケーションフリープレイヤーとは？

ロケーションフリープレイヤーとは、パソコンから、ワイヤレスまたはルーター経由でベースステーションに接続し、テレビやビデオ、DVD を楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。
ベースステーションに接続すると、自宅のパソコンでテレビやビデオを見るだけでなく、外出先からもインターネット経由で自宅のテレビ放送やビデオ、DVD を楽しむことができます。

ちょっと一言

ロケーションフリープレイヤー LFA-PC2 は、ロケーションフリーテレビ LF-X5（別売り）のベースステーションにも接続することができます。
LFA-PC2 を LF-X5 のベースステーションに登録するには、本書を参照してください。ただし、LF-X5 のベースステーションは、本書の 18 ～ 21 ページで説明している「かんたん設定」には対応していません。LF-X5 のベースステーション設定情報（ドメイン名、ポート番号、登録パスワード）を入力して設定してください。詳しくは、LF-X5 の取扱説明書または本書「ロケーションフリー機器でテレビを映す」（☞ 16 ページ）をご覧になるか、ロケーションフリーのホームページ（http://www.sony.co.jp/airboard/QA/）をご覧ください。

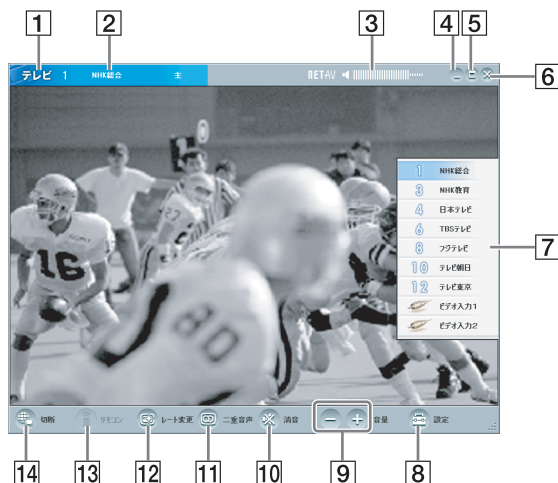
ご注意

- ロケーションフリープレイヤーでテレビやビデオを見るには、ベースステーションやルーターの電源は常に入れておく必要があります。
- NetAV 機能は、個人で楽しむ目的以外では使用できません。

各部の名前とはたらき（ロケーションフリープレイヤー）

ロケーションフリープレイヤーウィンドウ

通常画面

ウィンドウを縮小した場合

1 **テレビ / ビデオ表示**

2 **テレビのチャンネル番号と放送局名**

3 **音量表示**

4 **最小化ボタン**
ロケーションフリープレイヤーウィンドウのサイズを最小化します。

5 **最大化 / 元に戻すボタン**
ロケーションフリープレイヤーウィンドウを全画面で表示します。もう一度クリックすると、元の大きさに戻ります。

6 **閉じるボタン**
ロケーションフリープレイヤーを終了します。

7 **インデックス**（☞ 26 ページ）
テレビチャンネル、ビデオ入力 1、ビデオ入力 2 を選びます。

8 **設定**（☞ 30 ページ）
テレビチャンネルやリモコンの設定をするための「設定」画面を表示します。

9 **音量調節**
［+］をクリックすると音量が上がり、［–］をクリックすると下がります。

10 **消音**
音声を消します。
消音中にこのボタンをもう一度クリックするか、音量［+］をクリックすると、消音を解除します。

11 **二重音声**（☞ 27 ページ）
二重音声放送時に音声を切り換えます。
二重音声放送時やステレオ放送時は、現在の状態が画面上部のバーに表示されます。

12 **レート変更**（☞ 28 ページ）
映像のレート（画質）を調整する画面を表示します。

13 **リモコン**（☞ 27 ページ）
ビデオ入力のリモコンが設定されているときに、設定されたリモコンを画面上に表示します。

14 **接続 / 切断**
接続：ベースステーションに接続します。
切断：ベースステーションとの接続を切断します。

15 ⩔、>>
ウィンドウを縮小してインデックスの下部や画面右下のボタンが隠れてしまったときに表示されます。ここをクリックすると、隠れているチャンネルやボタンが表示されます。

ご注意
音量調節［+］［−］が隠れているときに［>>］をクリックして音量を調節する場合は、一段階ずつしか調節できません。

ちょっと一言
マウスやキーボードを使って、設定画面の表示や各種調整ができます。「マウス / キーボードから操作する」（☞ 28 ページ）をご覧ください。）

画面上のリモコン

設定や接続している機器によって、表示されるリモコンが異なりますが、ここでは各リモコン共通の機能について説明します。

1 **リモコン名表示**

2 **閉じるボタン**
画面上のリモコンを閉じます。

3 **電源**
つないだ機器の電源の入 / 切を行います。

4 **機種切換**
1 つの入力に対し、2 台の機器を接続し、それぞれのリモコンを設定した場合に表示されます。選ぶたびに表示リモコンを切り換えます。

ご注意
- インデックスとリモコンは、ベースステーションに接続中にしか操作できません。接続前には、「ベースステーションの選択」画面の［詳細設定］を選んで［チャンネル / リモコン設定］をクリックすると操作できます。
- 接続した機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、画面上のリモコンに表示されていても、接続した機器にない機能のボタンは操作できません。
- 接続した機器に付属のリモコンのボタン名と画面のリモコンのボタン名が異なることがあります。
- 一体型機器のリモコンをお使いの場合、［デッキ切換］ボタンをクリックすると、一体型機器に入っている 2 つのデッキの映像とリモコンを同時に切り換えますが、［デッキ切換］ボタンをクリックして表示されるデッキの映像と画面上のリモコンが一致しないときは ボタンをクリックすると映像が変わります。

ベースステーションに接続して映像を見る

ロケーションフリープレイヤーを起動して、ベースステーションに接続すると、テレビやビデオ、DVD などを見ることができます。
使い方は、家の中で使う場合も外出先で使う場合も同じです。

ロケーションフリープレイヤーを起動する前に

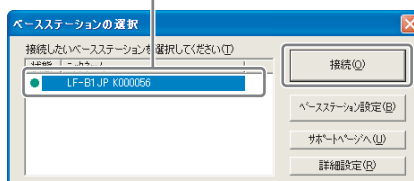
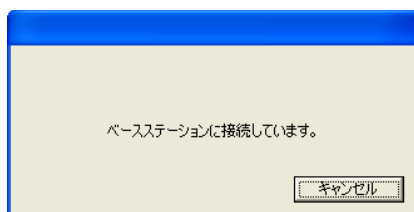
ベースステーションの電源が入っていることを確認してください。また、パソコンを家の中で使う場合には家庭内 LAN に、外出先で使う場合にはインターネットにつながっていることを確認してください。

NetAV を開始する

1 パソコンのデスクトップにある（LocationFree Player）をダブルクリックする。

または、［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）－［Sony LocationFree Player J］－［LocationFree Player］をクリックします。

2 「ベースステーションの選択」画面で、リストから接続するベースステーションを選び、［接続］をクリックする。

ここを選びます。

以下の画面が表示され、ベースステーションへの接続を開始します。

接続が完了すると、テレビが映ります。

リストに表示されるアイコンについて

緑アイコン：

同じ LAN 上にあるベースステーションです。接続したことがあるかどうかにかかわらず、同じ LAN 上のベースステーションには緑色のアイコンが表示されます。

薄緑アイコン：

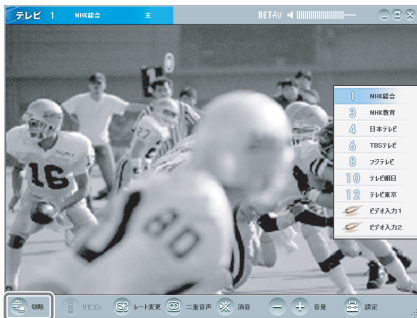
同じ LAN 上にはないが、接続したことのあるベースステーションです（インターネット経由など）。

ちょっと一言

家の中で一度接続したベースステーションに外出先から接続する場合、薄緑色で表示されます。

視聴を終了する

ベースステーションとの接続を終了する

画面内をクリックし、画面左下の［切断］をクリックします。

［切断］

ロケーションフリープレイヤーを終了する

画面内を選んで画面上部のバーを表示させ、画面右上の☒（閉じる）ボタンをクリックします。

テレビ / ビデオを操作する

テレビチャンネルを選ぶ

インデックス画面で選ぶ

インデックス画面を表示し、見たいチャンネルやビデオ入力をクリックします。インデックス画面は、画面操作後約 5 秒で自動的に消えます。

1 ロケーションフリープレイヤーの画面内をクリックする。

インデックス画面が表示されます。

ご注意

ベースステーションに接続していないときは、画面内をクリックしてもインデックス画面は表示されません。

2 見たいチャンネルやビデオ入力をクリックする。

インデックス

選んだテレビチャンネルまたはビデオ入力に接続した機器の映像が表示されます。

キーボードで選ぶ

↑キーや↓キーを使って、チャンネルを順送りで選べます。↑キー（チャンネル＋）または↓キー（チャンネル－）を押すたびに、チャンネルが順番に変わります。

音量を調節する

画面右下の［音量＋ / －］を使って、音量を調節します。

音量

キーボードの←キー（音量－）や→キー（音量＋）を使って調節することもできます。

ちょっと一言

［音量＋ / －］を調整しても好みの音量にならないときは、パソコンのボリュームを調整してください。

画面上のリモコンを使う

リモコン設定を行うと（☞ 31 ページ）、ビデオや DVD などの操作を画面上のリモコンで行えます。

画面左下の[リモコン]をクリックする。

リモコンが表示されます。
リモコンは、ベースステーションに接続中にしか表示できません。

音声を切り換える[二重音声]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

画面下の[二重音声]をくり返しクリックする。

クリックするたびに、「主」→「副」→「主／副」→「主」の順に変わります。

ちょっと一言

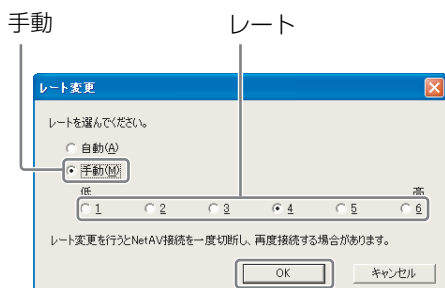
ビデオ入力につないだ機器の二重音声切り換えは、つないでいる機器に付属のリモコンで行ってください。画面上のリモコンから操作できる機器もあります。

映像のレートを調整する

通信状態に応じて、最適な映像を見られるように調整します。
通常は、「自動」を選ぶと通信状態応じた最適な映像のレートに設定されます。手動でレートを選択する場合は、高い（数字の大きい）レートを選ぶほど画質がよくなりますが、より大きい帯域を必要とするため、帯域が狭い場合には映像が止まりがちになります。

1 **画面下の[レート変更]をクリックする。**

「レート変更」画面が表示されます。

2 **レートを選び、[OK]をクリックする。**

ご注意

接続中に自動と手動を切り換えたり、「1」や「6」から他のレートに変更したり、他のレートから「1」や「6」に変更したときは、NetAV 接続がいったん切断された後、再接続される場合があります。

マウス / キーボードから操作する

パソコンのマウスやキーボードで、ロケーションフリープレイヤーの以下の操作ができます。

マウスでの操作

	操作
クリック	ウィンドウ内をクリックすると、インデックス画面を表示します。
右クリック	ウィンドウで右クリックすると、右クリックメニューが表示されます。

右クリックメニュー

メニュー	操作
接続 / 切断	接続：ベースステーションに接続します。 切断：ベースステーションとの接続を切断します。
リモコン	ビデオ入力のリモコンが設定されているときに、設定されたリモコンを画面上に表示します。
設定	各種設定をするための「設定」画面を表示します。
レート変更	通信状態に応じて、最適な映像が見られるように調整できます。
二重音声	二重音声放送時に音声を切り換えます。
消音	音声を消します。 消音中に［消音］をもう一度選ぶか、音量調節をすると、消音を解除します。
音量 ＋	音量を上げます。
音量 －	音量を下げます。
画面最前面に表示	ロケーションフリープレイヤーのウィンドウを最前面に表示します。
取扱説明書	取扱説明書を表示します。
バージョン情報	ロケーションフリープレイヤーのバージョン情報を表示します。
アプリケーションの終了	ロケーションフリープレイヤーを終了します。

キーボードでの操作

キー	操作
Ctrl + W または Alt + F4	ロケーションフリープレイヤーを終了します。
F1	取扱説明書を表示します。
F5 または Ctrl + S	ベースステーションとの接続 / 切断を切り換えます。
F6 または Ctrl + R	ビデオ入力のリモコンが設定されているときに、設定されたリモコンを画面上に表示します。
F7 または Ctrl + L	レート変更画面を表示します。
F8 または Ctrl + M	音声を消します。 消音中に［消音］をもう一度選ぶか、音量＋をすると、消音を解除します。
F12 または Ctrl + P	各種設定をするための「設定」画面を表示します。
← →	音量を調節します。 ←キーが音量－、→キーが音量＋になります。
↑ ↓	チャンネルを順送りで切り換えます。 ↑キーがチャンネル＋、↓キーがチャンネル－になります。
Alt + スペース	画面表示に関するメニューを表示します。

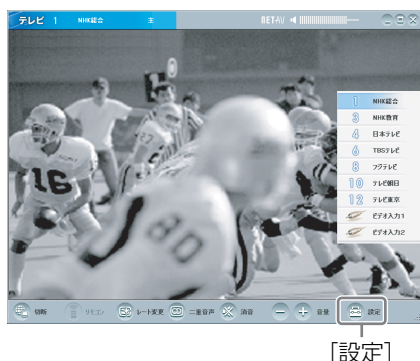
テレビ / ビデオに関する設定を行う

テレビチャンネルやリモコンの設定をします。

テレビチャンネルを設定する

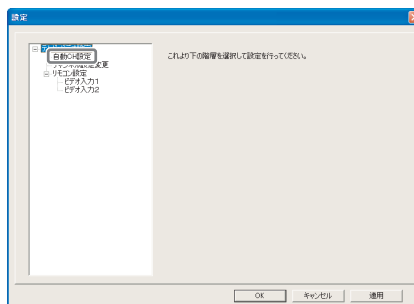
テレビのチャンネルは、地域を選ぶだけで設定されます。また、必要に応じて手動で設定し直すこともできます（☞ 32 ページ）。まず、自動で設定してみましょう。

1 **画面内をクリックし、画面右下の[設定]をクリックする。**

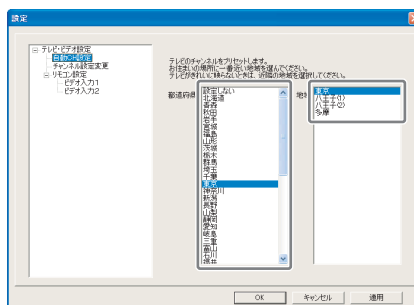
[設定]

「設定」画面が表示されます。

ちょっと一言

画面右下の［設定］は、NetAV 接続しているときだけ表示されます。接続していないときは、画面左下の［接続］をクリックし、表示された「ベースステーションの選択」画面のリストから設定したいベースステーションを選んで、［詳細設定］をクリックし、［チャンネル / リモコン設定］をクリックしてください。

2 **[テレビ・ビデオ設定]の下にある[自動 CH 設定]を選ぶ。**

「自動 CH 設定」画面が表示されます。

3 **お住まいの都道府県と、お住まいの場所に一番近い地域を選ぶ。**

左側の都道府県一覧から都道府県を選ぶと、右側に地域一覧が表示されます。

4 **[OK]または[適用]をクリックする。**

［OK］をクリックすると設定が有効になり、「設定」画面が閉じます。
［適用］をクリックすると、「設定」画面が閉じずに、設定が有効になります。
チャンネルが自動設定されます。

ちょっと一言

- テレビがきれいに映らない場合は、手順 3 で近くの別の地域を選び直してください。
- それでもテレビが映らない場合は、手動でテレビチャンネル設定を変更してください（☞ 32 ページ）。

ご注意

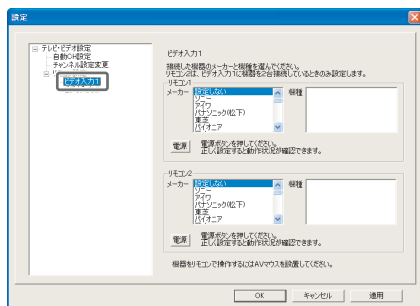
ホームターミナルを使わずにケーブルテレビ（C13 ～ C63）を設定する場合は、手動設定でチャンネルを追加してください（☞ 32 ページ）。

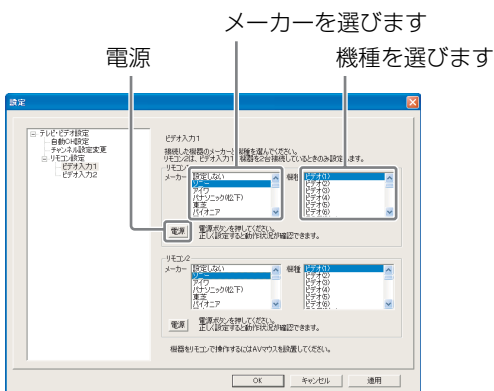
画面上のリモコンを設定する

ベースステーションにつないだビデオや DVD などの機器を、画面上のリモコンで操作するための設定を行います。
各機器や付属の AV マウスの接続については、「他機器をつなぐ」（☞ 9 ページ）をご覧ください。

1 画面内をクリックし、画面右下の[設定]をクリックする。

2 [リモコン設定]の下にある[ビデオ入力 1]または[ビデオ入力 2]を選ぶ。

機器をつないだ方のビデオ入力を選んでください。

3 つないだ機器のメーカー名と機種を選ぶ。

メーカー名を選ぶと、機種が表示されます。

メーカーと機種を選んだら、［電源］をクリックして正しく設定されているかどうか確認してください。［電源］をクリックしてから映像が表示されるまで 5 秒程度かかります。そのままお待ちください。設定が正しければ、［電源］をクリックするたびに、つないだ機器の電源が入 / 切します。
［電源］を何回かクリックしてもつないだ機器の電源が入 / 切しない場合は、メーカーや機種が正しく選ばれているかどうか確認してください。

ちょっと一言

この確認は、NetAV 接続しているときだけ行えます。

1 つの端子に外部入力機器を 2 台つないでいるとき

リモコン 1、リモコン 2 にそれぞれのリモコンを設定してください。

ビデオデッキと DVD などが一体になった機器をつなぐときは

上段の機種のリストから（一体型）と表示された機器を選ぶ（例：ソニー「ビデオ +DVD（一体型）」）と、下段の［メーカー］、［機種］欄にも選んだ機器が自動的に表示されます。この場合は、画面上のリモコンの［デッキ切換］ボタンをクリック

すると、ビデオ用のリモコンと DVD 用のリモコンを切り換えて操作できます。

ちょっと一言

アイワ製の DVD プレイヤー、DVD+VHS（一体型）、ビデオデッキの一部の機種については、メーカー名をソニーまたはその他に設定するものもあります。

4 [OK]または[適用]をクリックする。

［OK］をクリックすると設定が有効になり、「設定」画面が閉じます。
［適用］をクリックすると、「設定」画面が閉じずに、設定が有効になります。

テレビチャンネルを手動で設定する

受信するテレビチャンネルを手動で設定できます。また、チャンネルの自動設定をした後に、チャンネルを追加・取り消ししたり、放送局名を変更したりできます。

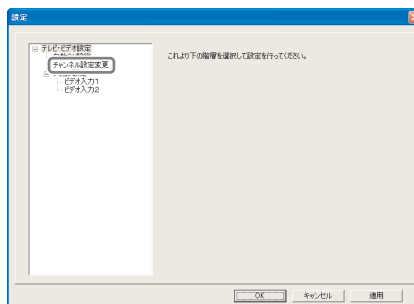
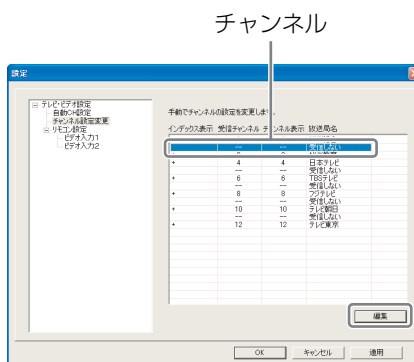
本機で受信可能なチャンネル

VHF 放送：	1 ～ 12 チャンネル
UHF 放送：	13 ～ 62 チャンネル
ケーブルテレビ：	C13 ～ C63 チャンネル

チャンネル設定を変更する

1 画面内をクリックし、画面右下の[設定]をクリックする。

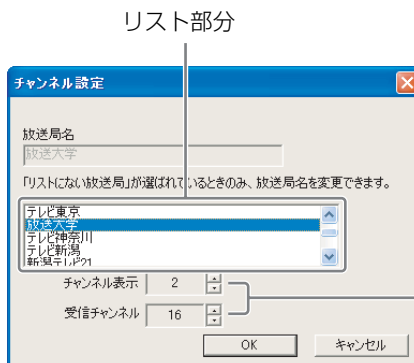
「設定」画面が表示されます。

2 「テレビ・ビデオ設定」の下にある[チャンネル設定変更]を選ぶ。

3 変更したいテレビチャンネルを選んでから[編集]をクリックするか、リストをダブルクリックする。

チャンネル

「チャンネル設定」画面が表示されます。

4 リストの中からインデックスに表示したい放送局名を選ぶ。

リスト部分

▲▼

「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を変更する場合は、[▲] または [▼] を使って数字を変更します。

「チャンネル表示」とは

ロケーションフリープレイヤーの画面上部やインデックスに表示するテレビチャンネルの番号です。

「受信チャンネル」とは

新聞のテレビ欄などに記載されているチャンネルです。

ちょっと一言

- ケーブルテレビのときは、チャンネル番号の前に「C」の付いた番号を選びます。
- [受信チャンネル] に「--」(1 の前または C63 の次) を表示すると、テレビチャンネルを受信しなくなります。
- 追加したい放送局名がリストの中にないときは「放送局名を編集する」(☞ 34 ページ) を行います。

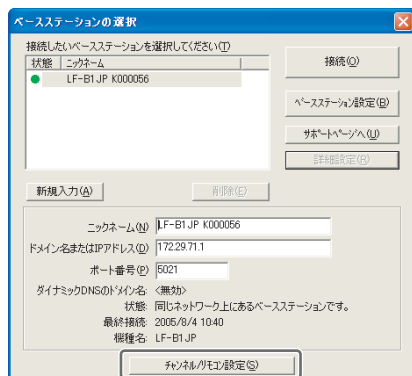
5 [OK]をクリックする。

「設定」画面に戻ります。

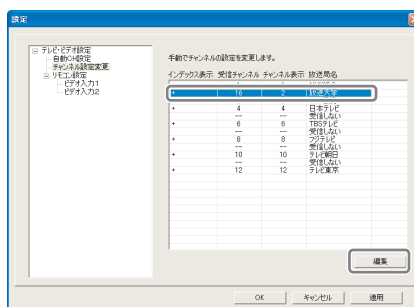
6 [OK]をクリックする。

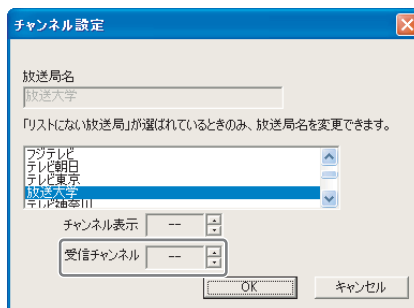
「設定」画面が閉じます。

ちょっと一言

「チャンネル設定」画面は、「ベースステーションの選択」画面の [詳細設定] をクリックし、[チャンネル / リモコン設定] をクリックしても表示できます。

見ないチャンネルを消去する

設定したテレビチャンネルの中から、見ないテレビチャンネルを消去します。
消去したチャンネルをもう一度受信するには、自動で設定し直すか (☞ 30 ページ)、「チャンネル設定を変更する」(☞ 32 ページ) にしたがって設定し直してください。

1 「チャンネル設定変更」画面を表示し (☞ 32 ページ)、消去したいテレビチャンネルを選んで[編集]をクリックするか、ダブルクリックする。

「チャンネル設定」画面が表示されます。

2 「受信チャンネル」の[▲]/[▼]で[--]を選び、[OK]をクリックする。

「設定」画面に戻ります。
選んだチャンネルが消去され、「放送局名」が「受信しない」に変わります。

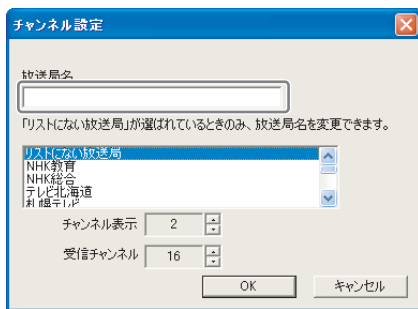
3 [OK]をクリックする。

「設定」画面が閉じます。

放送局名を編集する

放送局名のリスト中に追加したい放送局名がないときは、好みの放送局名を入力して、インデックス画面に表示できます。

1 「チャンネル設定を変更する」(☞ 32 ページ)の手順 1 ～ 3 で「チャンネル設定」画面を表示する。

2 リストの中から「リストにない放送局」を選び、「放送局名表示」に放送局名入力する。

ちょっと一言

「チャンネル表示」と「受信チャンネル」が「--」のときは、[▲] / [▼] で受信チャンネルを設定してください。

3 [OK]をクリックする。

「設定」画面に戻ります。

4 [OK]をクリックする。

「設定」画面が閉じます。

ロケーションフリープレイヤーに必要なシステム

ロケーションフリープレイヤーをインストールするには、以下の性能を満たしたパソコン（PC/AT 互換機のみ）が必要です。

OS：
Windows 2000 Professional Service Pack 4、Windows XP Professional/Home Edition Service Pack 2

CPU：
Pentium 4　1 GHz 以上

メモリー：
256 MB 以上

ハードディスク：
空き容量 300 MB 以上

ディスプレイ：
ハイカラー（16 ビットカラー以上、800 × 600 ピクセル以上）

その他：
- IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11a（W52）［36/40/44/48ch］に準拠するワイヤレス LAN 機器（WEP による暗号化に対応している必要があります）（ワイヤレス LAN で直接ベースステーションに接続する場合）
- 10BASE-T、または 100BASE-TX の LAN 端子（有線 LAN で接続する場合）

ご注意

一部のビデオカード（グラフィックスカード）では、画像が歪み、正しく映らないことがあります。
この問題を解決するには、お持ちのパソコンメーカーのウェブサイトなどより、最新のグラフィックスドライバーをダウンロードし、ビデオカード（グラフィックスカード）のドライバーを最新のものにしてください。

ロケーションフリープレイヤーのインストール / アンインストール

ロケーションフリープレイヤーのインストール / アンインストールは、以下の手順で行います。

ご注意

LF-PK1 に付属のロケーションフリープレイヤーソフトウェアは、30 日間使用可能なトライアル版です。引き続きお使いになる場合は、製品版を購入してください。

インストール

ちょっと一言

- ロケーションフリープレイヤーは、Windows XP Service Pack 2、Windows 2000 Professional Service Pack 4 にのみに対応しています。その他の OS では使用できません。
- インストールする前に、必ず管理者権限（Administrators）のあるユーザーアカウントで Windows にログオンしてください。
- ロケーションフリープレイヤーをインストールするパソコンに Microsoft DirectX 9.0 がインストールされていない場合は、ロケーションフリープレイヤーをインストールすると、Microsoft DirectX 9.0 も同時にインストールされます。

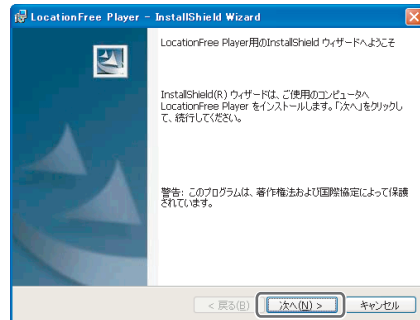
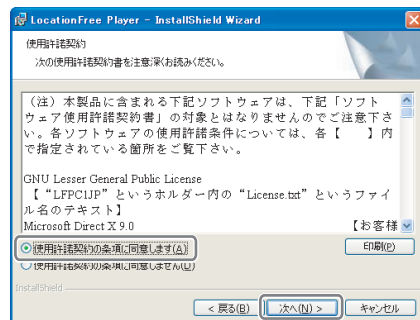
ご注意

ロケーションフリープレイヤーと同時に 3ivx がインストールされます。3ivx は、ロケーションフリープレイヤーの動作に不可欠なソフトウェアです。絶対に削除しないでください。

1 パソコンの CD-ROM ドライブに、ロケーションフリープレイヤーソフトウェア CD-ROM を入れる。

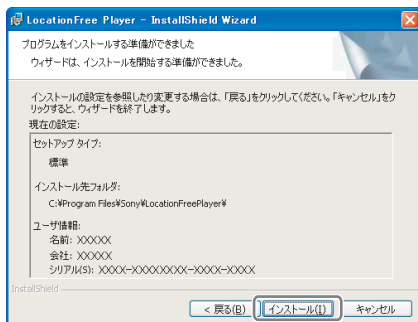
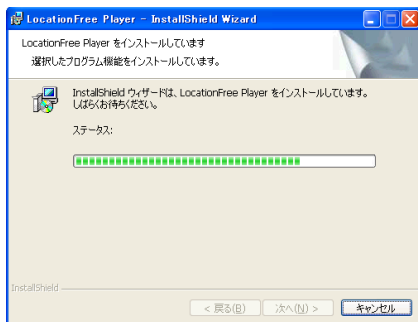
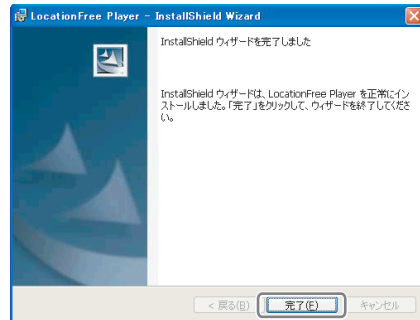
インストールウィザードが起動します。

インストールウィザードが起動しない場合は、CD-ROM 中にある「setup.exe」をダブルクリックしてください。

2 [次へ]をクリックする。

3 使用許諾契約の内容をよく読んで「使用許諾契約の条項に同意します」を選び、[次へ]をクリックする。

4 ユーザ名、所属、シリアルキーを入力し、[次へ]をクリックする。

5 インストール先フォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

インストール先フォルダを変更する場合は、［変更］をクリックし、フォルダを選択してください。

6 インストールの設定を確認し、[インストール]をクリックする。

インストールが開始されます。

インストールが完了したら、［完了］をクリックする。

インストールが完了すると、デスクトップにロケーションフリープレイヤーのショートカットが作成されます。

アンインストール

[スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]（Windows 2000 の場合は[プログラム]）－[Sony LocationFree Player J]－[Uninstall LocationFree Player]を選ぶ。

以降、画面の指示にしたがって、アンインストールを行います。

ご注意

ロケーションフリープレイヤーをアンインストールしても、3ivx は自動的に削除されません。3ivx は手動で削除してください。3ivx の削除は、Windows の「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」（Windows 2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」）で行えます。

ベースステーションの設定画面を開く

本章では、ベースステーションの設定を詳細に行うための「詳細設定」の各項目について説明します。「詳細設定」では、ベースステーションの IP アドレスを設定したり、ワイヤレス LAN の暗号鍵を変更するなど、使用するネットワーク環境に合わせて詳細に設定できます。

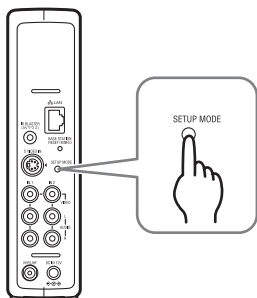
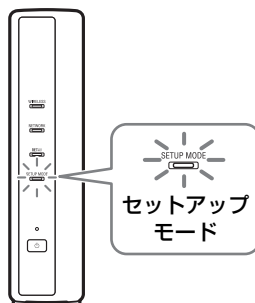
なお、「ベースステーションの設定」は、Web ブラウザで設定します。

設定を行う前に

ベースステーションの電源が入っていることを確認してください。

ベースステーションをセットアップモードにする（ルータを使った接続のみ）

ルーター経由で接続している場合にベースステーションの設定を行うときは、ベースステーションをセットアップモードにする必要があります（☞ 12 ページ）。ワイヤレスで接続している場合は、その必要はありません。

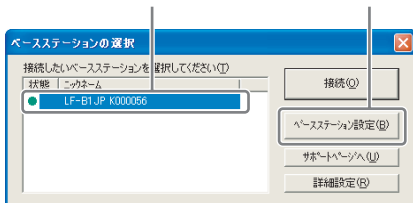
1 ベースステーションの背面にあるセットアップモードボタンを、セットアップモードランプが点滅するまで押し続ける。

ベースステーションがセットアップモードになり、正面のセットアップモードランプが橙色に点滅し、その後点灯します。

ご注意

15 分間「ベースステーション設定」画面にアクセスしないでいると、セットアップモードが終了し、自動的にベースステーションが再起動します。

ちょっと一言

ルーターを使ってベースステーションに接続する場合、ベースステーションに DHCP で IP アドレスが割り当てられるまでに時間がかかることがあります。IP アドレスが割り当てられるまでは、次ページの手順 1 の画面にベースステーションは表示されません。ネットワークランプが点灯してから、手順 1 に進んでください。

「詳細設定」画面を開く

1 パソコンのデスクトップにある (LocationFree Player)をダブルクリックして、ロケーションフリープレイヤーを起動し、表示される「ベースステーションの選択」画面で設定したいベースステーションを選び、[ベースステーション設定]をクリックする。

Web ブラウザが起動して、「ベースステーション設定」画面が開き、続いてパスワードの入力画面が表示されます。

2 ユーザー名(lfx)とパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

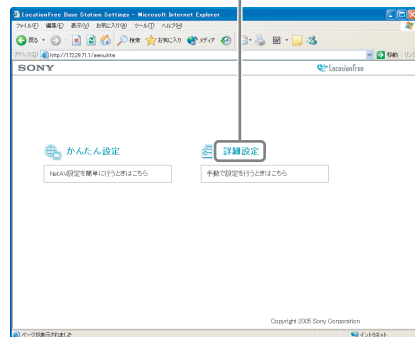
「ベースステーション設定」にログインすると、設定メニュー画面が表示されます。

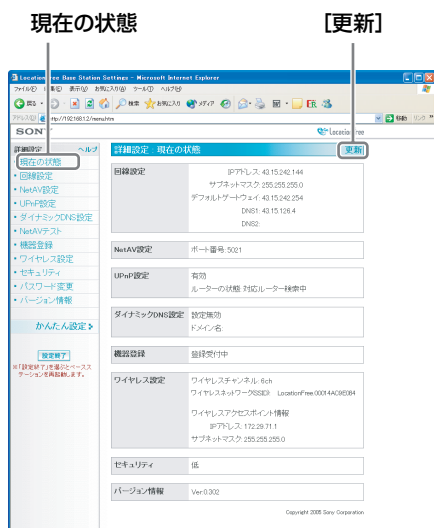
ちょっと一言

お買い上げ時の初期パスワードは、ベースステーションの側面シール上の「WebPassword」に記載されています。パスワードは、[詳細設定] の [パスワードの変更] で変更できます。

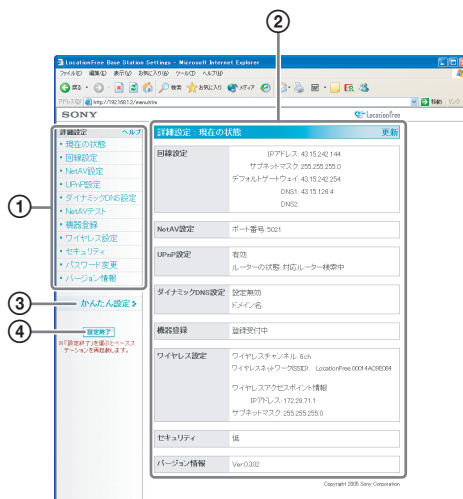
3 [詳細設定]をクリックする。

「詳細設定情報」画面が表示されます。

ベースステーションの高度な設定

現在の状態を確認する

「詳細設定情報」画面で［現在の状態］をクリックすると、現在のベースステーションの設定内容や状態を確認することができます。

最新の状態が表示するには、［更新］をクリックします。

「詳細設定」画面の基本操作

ここでは、「詳細設定」の各画面共通の操作について説明します。

① 設定したい項目をクリックします。
項目をクリックすると、右側のページに各項目に応じた内容が表示されます。

② 設定や操作を行います。設定を行った場合は、必ず［セット］をクリックし、設定内容を保存してください。

③ 「かんたん設定」画面にジャンプします。

④ 設定を終了し、自動的にベースステーションが再起動します。

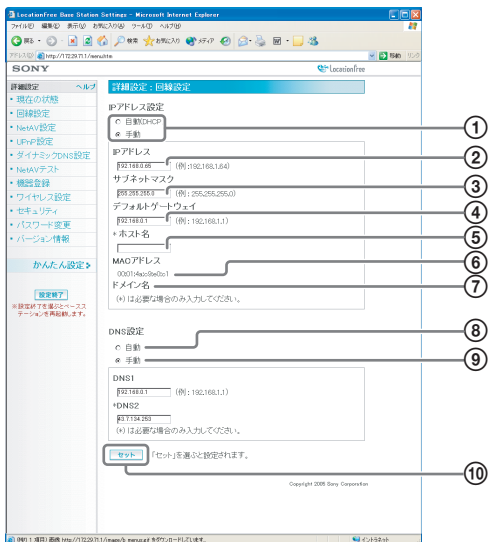
以降では、各画面ごとに設定項目の詳細や操作のしかたについて説明します。

インターネットに接続するための設定

ベースステーションをインターネットに接続するために、IP アドレスや DNS の設定を行います。

回線設定

ネットワーク環境に合わせて、ベースステーションに IP アドレスを設定できます。また、ベースステーションの有線 LAN 側の MAC アドレスも調べることもできます。
契約しているプロバイダからの資料やモデム、ルーターの説明書にしたがって設定してください。

ご注意
ルーターを使って接続している場合、「回線設定」で IP アドレスを変更して［セット］をクリックした後は IP アドレスが変更されるため、「ベースステーション設定」画面にアクセスできなくなります。再度「ベースステーション設定」画面を開く場合は、ロケーションフリープレイヤーの「ベースステーションの選択」画面で［ベースステーション設定］をクリックしてください。

① ルーターやモデムのDHCP機能を利用して、ベースステーションに自動的に IP アドレス割り当てるか、手動で IP アドレスを設定するかを選びます。
［自動（DHCP）］を選んだときは、ルーターの DHCP サーバーから「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」が自動的に割り当てられます。
［手動］を選んだときは、プロバイダの資料を見ながら「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「ホスト名」を入力してください。
お買い上げ時は「自動（DHCP）」に設定されています。

② IP アドレスを入力します。

③ サブネットマスクを入力します。

④ デフォルトゲートウェイを入力します。

⑤ 必要に応じて、ベースステーションのホスト名を入力します。

ちょっと一言
ホスト名は、IP アドレスが「自動」のときのみ設定できます。

⑥ ベースステーションの有線LAN側のMACアドレスが表示されます。

⑦ お使いの環境によっては、ドメイン名が表示されます。

⑧ DNS を自動で設定するときに選びます。
DNS の自動設定は、IP アドレスが「自動」のときのみ設定できます。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

⑨ DNS を手動で設定するときに選びます。
ここを選んだときは、「DNS1」、「DNS2」を入力してください。

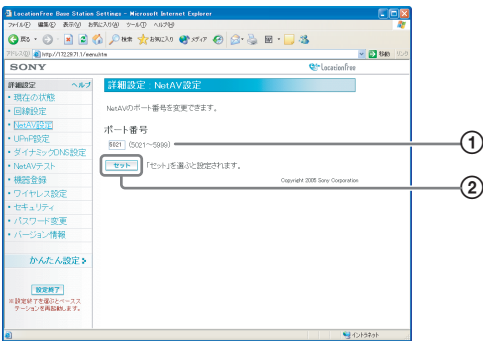
⑩ 各項目を入力し、ここをクリックすると、設定が変更されます。

外出先からテレビを見るための設定

かんたん設定（☞18 ～ 21 ページ）を行った場合は、41 ～ 43 ページの設定は不要です。

NetAV 機能を利用するための詳細設定を行います。

NetAV 設定

NetAV 機能を使う場合のベースステーションのポートを設定します。

① 自宅に複数台のベースステーションがあり、すでに 5021 が使われている場合は、重複しないように NetAV サーバーのポート番号を変更します。
ポート番号は、5021 ～ 5999 の範囲で設定できます。
お買い上げ時は 5021 に設定されています。

② 各項目を入力し、ここをクリックすると、設定が変更されます。

UPnP 非対応のルーターをお使いの場合

ルーターのポートフォワーディング設定が必要です。以下の手順でベースステーションの IP アドレスを設定してください。

ちょっと一言

以下の説明で使用している IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは例です。お使いのルーターの IP アドレスの設定を確認してから設定を行ってください。

1 「回線設定」画面の「IP アドレス設定」を「手動」に変更し、次のように入力する。

IP アドレス：192.168.0.64 ＊1
サブネットマスク：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：192.168.0.1 ＊2

＊1 ルーターの IP アドレスが 192.168.0.1 の場合の入力例。
ルーターの IP アドレスが 192.168.1.1 の場合は、IP アドレスは 192.168.1.64 を入力してください。なお、ベースステーションを複数台使用する場合は、64 と 65 など、それぞれ異なる設定をしてください。

＊2 ルーターの IP アドレスが 192.168.0.1 の場合の入力例。
ルーターの IP アドレスが 192.168.1.1 の場合は、デフォルトゲートウェイは 192.168.1.1 を入力してください。

2 「DNS 設定」を「手動」に変更し、次のように入力する。

DNS1：192.168.0.1 ＊3
DNS2：空欄のままでかまいません。

＊3 ルーターの IP アドレスが 192.168.0.1 の場合の入力例。
ルーターの IP アドレスが 192.168.1.1 の場合は、DNS1 は 192.168.1.1 を入力してください。

3 ［セット］をクリックする。

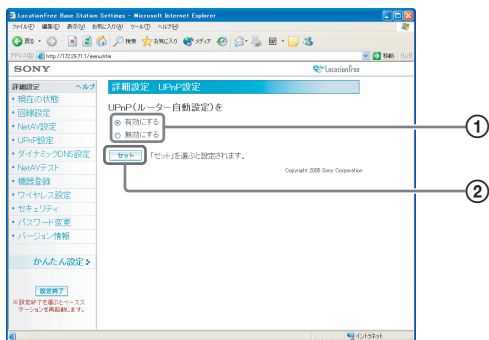
4 ルーターのポートフォワーディングの設定を行う。

「NetAV 設定」（☞ 41 ページ）で設定したポート番号を入力してください。
詳しくは、ご使用のルーターの取扱説明書をご覧ください。

UPnP 設定

外出先からベースステーションに接続してNetAV を使用する際は、自宅のルーターでポートフォワーディング設定が必要になります。
使用しているルーターが UPnP に対応している場合は、UPnP 機能を利用して動的にポートフォワーディングを行うことができます。

ちょっと一言

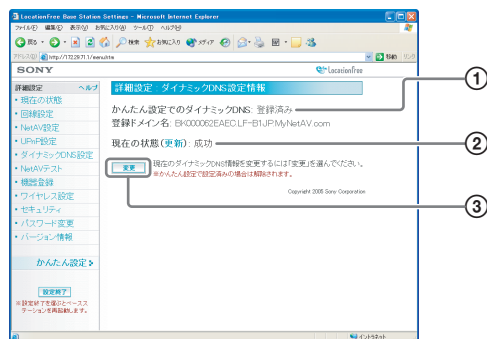
ルーターの設定については、ルーターの説明書をご覧ください。

① 「UPnP（ルーター自動設定）」を有効にするか、無効にするかを選びます。
「無効」に設定した場合は、ルーター側でポートフォワーディングの設定をする必要があります。
お買い上げ時は「有効にする」に設定されています。

② ここをクリックすると、設定が変更されます。

ダイナミック DNS 設定

外出先から NetAV 機能を使用するには、ダイナミック DNS サービスを利用する必要があります。本機では、かんたん設定から設定できるダイナミック DNS サービスを用意しています。かんたん設定を行った場合は、以下の設定は不要です。

ダイナミック DNS の設定情報を確認する

［ダイナミック DNS 設定］をクリックすると、「ダイナミック DNS 設定情報」画面が表示されます。

① 「かんたん設定」でダイナミック DNS サービスに登録している場合に、ドメイン名が表示されます。

② 現在のダイナミック DNS の設定状態が表示されます。正常に動作しているときは「成功」と表示されます。

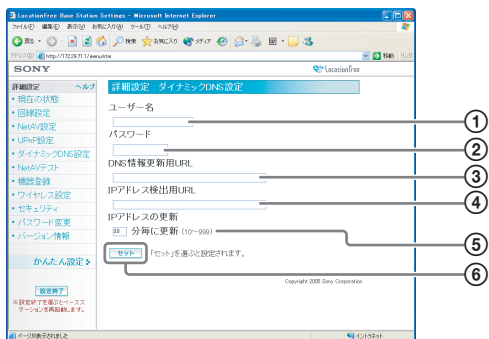
③ ダイナミック DNS の設定を手動で設定する場合にクリックします。

ちょっと一言

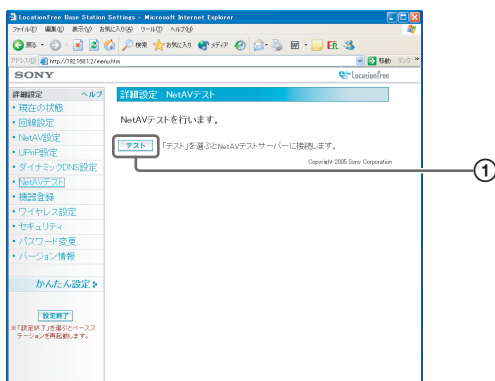
すでに「かんたん設定」を行っている場合は、「現在の状態」に、現在のダイナミック DNS の設定状態が表示されます。「かんたん設定」を行った後に、手動でダイナミック DNS 設定を行うと、「かんたん設定」によるダイナミック DNS 登録は解除されます。

ベースステーションの高度な設定

ダイナミック DNS を手動で設定する

本機のかんたん設定で設定可能なダイナミックDNS を利用しないで、他のダイナミック DNSを設定したい場合は、手動で設定します。

① ダイナミック DNS サービスに登録したユーザー名を入力します。
② ダイナミック DNS サービスに登録したパスワードを入力します。
③ DNS 情報を更新する URL を入力します。
④ IP アドレスを検出する URL を入力します。
⑤ IP アドレスの更新を何分ごとに行うかを設定します。
10 ～ 999 分の範囲で設定できます。
⑥ 各項目を入力し、ここをクリックすると、設定が変更されます。

NetAV テスト

NetAV が正しく設定できたかどうかの確認が行えます。

① このボタンをクリックすると、NetAV テスト画面が表示され、NetAV テストが開始されます。
NetAV テスト画面で「成功しました。」と表示された場合は、［設定終了］をクリックし、「ベースステーション設定」を終了します。
NetAV テスト画面で「失敗しました。」と表示された場合は、NetAV テスト画面の説明をご覧になり、必要な設定を行ってください。

ちょっと一言

ダイナミック DNS を手動で設定した場合は、NetAV テストを開始した後、ドメイン名の入力が必要になります。画面にしたがって入力してください。

ロケーションフリー機器をベースステーションに登録する

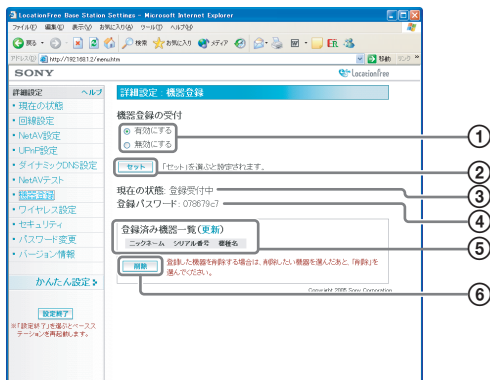
本機では、ロケーションフリープレイヤーから最初の接続時に登録される（☞ 18 ページ）ため、通常は以下で説明しているベースステーションへの機器登録を行う必要はありません。
接続時に登録パスワードの入力が必要になった場合は、以下の手順にしたがって操作してください。

機器登録

別のパソコンや機器登録機能を搭載したロケーションフリーテレビのモニターをベースステーションに機器登録したり、機器の登録を削除したりすることができます。
機器は 4 台まで登録できます。登録できる機器は、次のとおりです。

- ロケーションフリープレイヤーがインストールされているパソコン
- 機器登録機能を搭載したロケーションフリーテレビ（別売り）のモニター

ご注意

登録した複数のパソコンやモニターで、テレビやビデオなどの映像を同時に見ることはできません（映像を見ることができるのは、常に 1 台の機器だけとなります）。

① 機器登録を許可するときは「有効にする」を選びます。

② 現在のベースステーションの機器登録の受付状態が表示されます。

③ ベースステーションに機器登録するときに必要な登録パスワードが表示されます。
このパスワードは、機器側で登録設定するときに必要になりますので、メモしておいてください。

④ このボタンをクリックすると、ベースステーションが「機器登録の受付」で選択した状態（有効にする / 無効にする）を確定します。

⑤ 現在ベースステーションに登録されている機器の一覧が表示されます。
［更新］をクリックすると、一覧の情報が更新されます。

⑥ 一度登録した機器からのベースステーションへの接続をやめたいときに、「登録済み機器一覧」リストの登録解除したい機器をチェックし、［削除］をクリックします。

登録パスワードを発行するには

1 ［機器登録の受付］で［有効にする］を選ぶ。

2 ［セット］をクリックする。

3 左フレームで［機器登録］をクリックする。

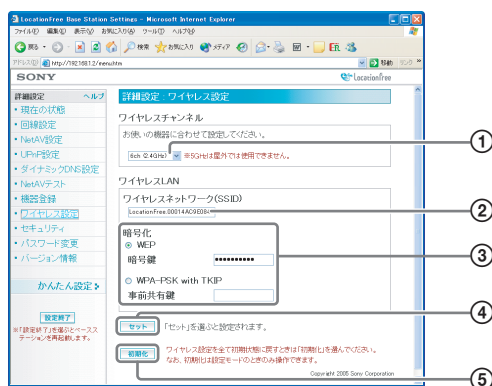
登録パスワードが表示されます。

ちょっと一言

- 登録パスワードは、1 回登録するごとに変更されます。また、登録受付中をやめ、再度登録を開始すると、登録パスワードは新しいものに変更されます。
- 機器の登録が完了したかどうかを確認するには、［登録済み機器一覧］の［更新］をクリックしてください。

ベースステーションのワイヤレス設定を変更する

ワイヤレス設定

ベースステーションのワイヤレス設定を変更することができます。
ベースステーションの設定を変更した場合、接続する機器のワイヤレス設定も変更する必要があります。

① 各規格のワイヤレス LAN 機器では、次の周波数帯を使用できます。パソコンをベースステーションにワイヤレスで接続する場合は、ワイヤレス LAN 機器に合わせたチャンネルから選択してください。
- •IEEE802.11a 準拠のワイヤレス LAN 機器の場合：5 GHz
- •IEEE802.11b 準拠のワイヤレス LAN 機器の場合：2.4 GHz
- •IEEE802.11g 準拠のワイヤレス LAN 機器の場合：2.4 GHz

② お買い上げ時にすでに文字列が入力されています（文字列はベースステーションの側面に記載されています）。変更する場合は、32 文字以内の半角英数字記号で入力してください。
SSID とは、ワイヤレスネットワークを識別するための ID です。

③ ［WEP］または［WPA-PSK with TKIP］は、どちらかを選び、選んだ暗号化の方法に合わせて、暗号鍵または事前共有鍵を入力します。

WEP の場合：
文字または 16 進数で暗号鍵を入力します。暗号鍵には、任意の文字列を設定できますが、暗号鍵の長さによって必要文字数が異なります。暗号鍵の必要文字数と使用できる文字は次のとおりです。

暗号鍵長	64bit	128bit
文字入力	5 文字 （半角英数字、記号）	13 文字 （半角英数字、記号）
16 進数入力	10 文字 （0 ～ 9、A ～ F、a ～ f）	26 文字 （0 ～ 9、A ～ F、a ～ f）

WPA-PSK with TKIP の場合：
8 文字以上 64 文字以内で事前共有鍵を入力します。
64 文字で入力した場合にのみ、使用できる文字は、0 ～ 9、a ～ f、A ～ F になります。

入力方法	文字数
文字入力	8 ～ 63 文字 （半角英数字、記号）
16 進数入力	64 文字 （0 ～ 9、A ～ F、a ～ f）

ちょっと一言
WEP、WPA-PSK with TKIP については、「安全のために」（別紙）の「ベースステーションのワイヤレス通信について」をご覧ください。

④ 各項目を入力し、ここをクリックすると、設定が変更されます。

⑤ ワイヤレス設定をすべて初期化する場合は、ここをクリックします。
初期化は、セットアップモード時のみ行えます。

ご注意
- 暗号鍵や事前共有鍵は、人から推測されにくい文字列を設定してください。
- セキュリティ確保のため、暗号鍵や事前共有鍵は定期的に変更してください。

ちょっと一言

- SSIDや暗号鍵、事前共有鍵は、パソコンをベースステーションにワイヤレス接続するときに必要になります。設定した内容を忘れないようにしてください。
- ここで設定した情報は、通常状態でのみ使われます。セットアップモードでは、ベースステーションの側面に記載されている出荷時の設定情報が使われます（☞ 12ページ）。
- 通常状態のワイヤレスチャンネルの初期値は、2.4 GHz帯のチャンネルです。5 GHz帯のみに対応するワイヤレス機器をご使用の場合は、「ロケーションフリー機器とベースステーションをルーターを使って接続する」（☞ 15ページ）にしたがってベースステーションと接続し、ベースステーションのワイヤレスチャンネルを5 GHz帯のチャンネルに変更してください。この接続で設定を行うには、ベースステーションをセットアップモード（☞ 12ページ）にする必要があります。
- ワイヤレスLANのセキュリティに関する注意は、「安全のために」（別紙）の「ベースステーションのワイヤレス通信について」をご覧ください。
- セキュリティ確保のため、ワイヤレス設定は有線LANでベースステーションに接続したパソコンで行うことをおすすめします。

また、ベースステーションは、ワイヤレスLANアクセスポイントとして使うことができます。ベースステーションをワイヤレスLANアクセスポイントとして使うと、ワイヤレスLAN機能を搭載した機器からベースステーションを経由してインターネットに接続できます。

ちょっと一言

ベースステーションをパソコンのワイヤレスLANアクセスポイントとして使う場合は、IEEE802.11a/b/gのいずれかに準拠のワイヤレスLAN機能が内蔵されたパソコンか、IEEE802.11a/b/gのいずれかに準拠したワイヤレスLANカードが必要です。
IEEE802.11aで接続するには、新チャンネル（W52）対応の機器が必要です（☞「安全のために」（別紙）の「ベースステーションのワイヤレス通信について」）。

ご注意

- すべてのワイヤレスLAN機器がベースステーションに接続できることを保証するものではありません。
- ベースステーションをアクセスポイントとして最大16台のワイヤレスLAN機器を接続できますが、接続台数が増えると通信速度が低下する場合があります。例えば、NetAV中に、他のワイヤレスLAN機器がベースステーションに接続して通信していると、映像をスムーズに送受信できない場合があります。

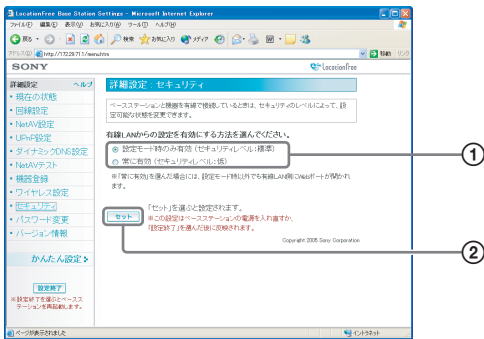
パソコンの設定をする

パソコンでワイヤレスLANを利用するには、ワイヤレスLAN機能（IEEE802.11a/b/gのいずれかの規格に準拠する）を内蔵したパソコンか、パソコンにワイヤレスLAN PCカード（IEEE802.11a/b/gのいずれかの規格に準拠する）をインストールし、本機のワイヤレスLANの設定に合わせて、Windows環境やインターネット接続の設定、アクセスポイントに接続するための設定を行います。（☞ 15ページ）
詳しくは、使用しているパソコンやワイヤレスLANカードの取扱説明書をご覧ください。

その他の設定

セキュリティ、パスワード、ベースステーションのソフトウェアに関する設定を行います。

設定画面を常に開けるようにする（セキュリティ）

ベースステーションのセキュリティレベルを「低」に設定すると、ベースステーションをセットアップモードにしなくても、有線 LAN 経由でベースステーション設定が行えるようになります。

① ベースステーションとパソコンを有線 LAN で接続しているときのセキュリティのレベルを選択できます。「常に有効（セキュリティレベル：低）」を選ぶと、常に有線 LAN 側の Web ポートが開かれるため、セットアップモード時以外でも設定することができます。
お買い上げ時は「設定モード時のみ有効（セキュリティレベル：標準）」に設定されています。

② ここをクリックすると、設定が変更されます。

ご注意

- ベースステーションのセキュリティレベルを「低」に設定すると、ベースステーションがセットアップモードのとき以外でも、ベースステーションの有線 LAN 側のポート 80 番が常時開いた状態になります。
- インターネット側（WAN 側）からのセキュリティを保つ場合、ルーターなどのファイアウォール機能によって、このポート 80 番のセキュリティが保たれていることを確認してください。＊1
- ルーターなどによってセキュリティが保たれていない場合は、WAN 側のポート 80 番からベースステーションにアクセスされるおそれがあります。セキュリティを確保するため、「設定画面を開くためのパスワードを変更する（パスワード変更）」（☞ 48 ページ）を参照し、定期的にパスワードを変更するなどして、他者からの「ベースステーション設定」画面へのログインから守るための設定を行ってください。＊2
- 「ベースステーション設定」画面にアクセスしてログインされた場合、以下のようなおそれがあります。＊3
  - ベースステーションの設定を変更される
  - 「ベースステーション設定」に他者のロケーションフリー機器が登録され、ベースステーションに接続されている機器（ビデオ、DVD など）のコンテンツを、視聴されたり、操作されたりしてしまう

＊1 ルーターのセキュリティ設定については、各ルーターメーカーにお問い合わせください。

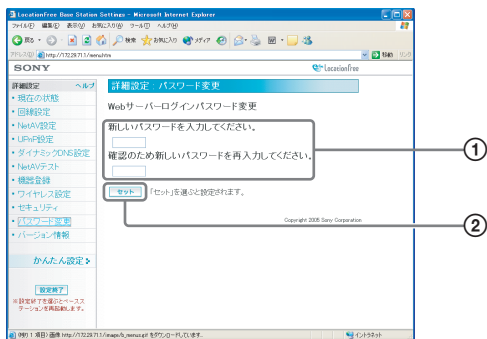
＊2 パスワードの変更は、必ずしも他者からログインされないことを保証するものではありません。

＊3 ソニー株式会社は、このような不利益がお客様に発生した場合、一切の責任を負いかねます。自己の責任において設定を行ってください。

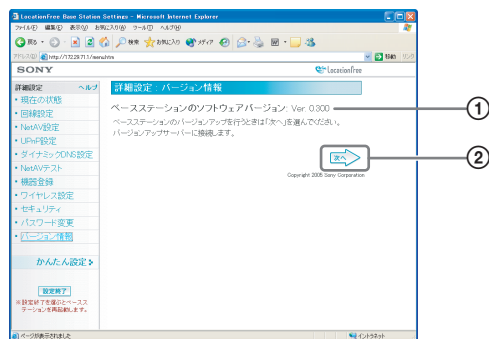
設定画面を開くためのパスワードを変更する(パスワード変更)

「ベースステーション設定」にログインするときのパスワードを変更することができます。

ご注意

変更したパスワードを忘れた場合、ログインするにはベースステーションの初期化（☞ 50 ページ）が必要となります。

① 新しいパスワードを入力します。
② パスワードを入力し、ここをクリックすると、パスワードが変更されます。

ベースステーションのソフトウェアをバージョンアップする(バージョン情報)

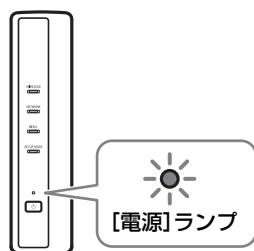
ベースステーションのソフトウェアバージョンの確認ができます。また、新しいソフトウェアがリリースされたときは、バージョンアップが行えます。

① 現在のソフトウェアバージョンが表示されます。
② ベースステーションのソフトウェアをバージョンアップするときにクリックします。このボタンをクリックすると、バージョンアップページが右フレームに表示されます。画面の指示にしたがって、バージョンアップの操作を行ってください。

ご注意

- ベースステーションのバージョンアップ中にベースステーションやパソコンの電源を切断したり、Web ブラウザを閉じたり、他の設定項目を操作しないでください。
- ベースステーションのバージョンアップ中は機器登録や NetAV 機能は利用できません。また、ベースステーションの設定変更はできません。
- バージョンアップ終了後は、自動的にベースステーションを再起動します。

自己診断表示について

使用中に異常が生じたときは、電源を入れたときにベースステーション正面の［電源］ランプがベースステーションの状態をお知らせします。次の表でランプの症状と対処のしかたを確認してください。症状が改善されない場合は、ロケーションフリーカスタマーサポートセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

自己診断表示ランプ

ベースステーションの［電源］ランプの症状	原因	対処のしかた
赤色で連続点滅 （赤）	ハードウェアまたは設定ファイルの異常の可能性があります。	❶ ベースステーションの電源の入 / 切を再度行う。 ❷ ベースステーションを初期化する。（☞ 50 ページ） ❸ 症状が変わらなければ、ロケーションフリーカスタマーサポートセンター（裏表紙）へお問い合わせください。

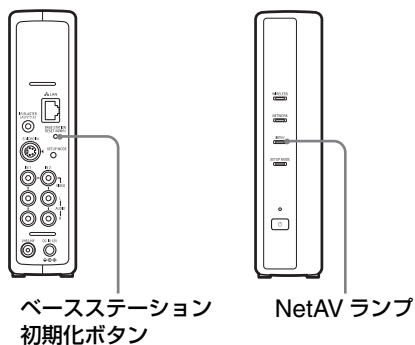
ベースステーションの初期化

ベースステーションを初期化すると、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

1 **ベースステーションの電源を切る。**

2 **ベースステーション背面にあるベースステーション初期化ボタンを押しながら、電源を入れ直す。**

ベースステーション初期化ボタンは、ベースステーション前面の NetAV ランプが赤く点灯するまで押し続けてください。

ベースステーション背面　ベースステーション前面

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検をしてください。それでも正常に動作しないときは、ロケーションフリーカスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

ロケーションフリープレイヤーのインストール

症状	対処のしかた
インストールできない	• ロケーションフリープレイヤーをインストールするときは、管理者権限を持つユーザーアカウントで Windows にログオンする必要があります。インストールを行う前に、管理者権限を持つユーザーアカウントで Windows にログオンしてください。 • パソコンがロケーションフリープレイヤーをインストールするための性能を満たしていますか？（☞ 34 ページ） • LF-PK1 に付属のお試し版ロケーションフリープレイヤーソフトウェアをインストールしている場合は、お試し版をアンインストールしてから製品版のロケーションフリープレイヤー（LFA-PC2）をインストールしてください。

ベースステーション

症状	対処のしかた
ベースステーションの電源が切れない。	［電源］ボタンを 3 秒以上押し続けてください。強制的に電源が切れます。
セットアップモードにできない。	• ベースステーションの電源がついているかを確認してください。 • セットアップモードランプが点滅または点灯しているか確認してください。
NetAV ランプがいつも橙色に点滅する。	ダイナミック DNS サービスを利用して NetAV 接続する場合、ベースステーションは定期的にダイナミック DNS サーバーに接続して情報を更新する必要があります。「かんたん設定」を行った場合、約 5 分おきにダイナミック DNS を更新し、更新中は NetAV ランプが橙色に点滅します（更新には約 1 分かかります）。
電源が切れた。	ベースステーションの設置環境が高温になると、電源が切れます。設置場所を確認してください。
ベースステーションから音がする。	ベースステーション内部の空冷ファンの音です。故障ではありません。

症状	対処のしかた
ベースステーションのネットワークランプが点灯しない。	● 回線に正しく接続されていますか？ 「回線の接続のしかた」（☞ 18 ページ）を参照し、回線の接続を確認してください。 ● モデムやルーターの電源が入っていますか？ 入っている場合は、いったん電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れ直してください。 ● LAN ケーブルの接続を確認してください。 ● 正しい LAN ケーブル（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）を使っていますか？ ケーブルの種類については接続機器の取扱説明書、または回線事業者にお問い合わせください。 ● 同時に 1 つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、先に他の機器を接続しているときは接続できません。
IP アドレスなどの値が自動的に割り当てられない（値が表示されない）。	● LAN ケーブルの接続を確認してください。 ● ルーターの DHCP サーバーが有効になっているか確認してください。 ●「回線設定」（☞ 40 ページ）をご覧になり、IP アドレスを手動で設定してください。

ロケーションフリープレイヤー

症状	対処のしかた
パソコンをベースステーションにワイヤレス接続できない。	● ワイヤレス LAN は正しく設定されていますか？ 45 ページで行った設定と同じ情報をパソコンに設定してください。 ● 使用するパソコンまたはワイヤレス LAN カードが対応している周波数帯（2.4 GHz 帯または 5 GHz 帯）を確認し、その周波数帯で動作するようにベースステーションを設定してください。5 GHz 帯を使用する場合は、接続機器が新チャンネル W52 に対応している必要があります。
パソコンをベースステーションに登録できない。	● ワイヤレスまたはルーター経由でパソコンをベースステーションに接続してから、ベースステーションをセットアップモードにしてください。 ● 複数のパソコンから 1 台のベースステーションに接続するときは、パソコンにはそれぞれ別のシリアルキーが必要です。 ● 同じ LAN 上にないベースステーションに登録するときは、あらかじめ「ベースステーション設定」画面の「詳細設定」の「機器登録」で登録用パスワードを発行しておき、登録時にそのパスワードの入力が必要になります。また LF-X5 のベースステーションに登録する場合もパスワードの入力が必要になります。LF-X5 の登録用パスワードの発行方法については、LF-X5 の取扱説明書をご覧ください。

症状	対処のしかた
「ベースステーションの選択」画面に何も表示されない。	● IP アドレスまたはドメイン名を直接入力するか、以下の項目を確認してください。 – ベースステーションの電源は入っていますか？ – ネットワークにつながっていますか？ – ウイルス対策ソフトなどのファイヤウォール機能にブロックされている可能性がありますので、セキュリティソフトの設定を確認してください。 – 有線 LAN で接続しているときは、ルーターの LAN ポートにベースステーションとパソコンを正しく接続してください。 – ベースステーションの回線設定が手動の場合は、IP アドレスの設定を確認してください。 ● 有線 LAN がグローバル IP アドレスの場合（マンションインターネットなど）は、セキュリティ上自動検出されないため、ベースステーションに割り当てられた IP アドレスを Web ブラウザに入力する必要があります。
家では接続できたのに外出先でベースステーションに接続できない。	● 外出先でのネットワークの設定は行いましたか？ ● NetAV の設定は正しいですか？（☞ 18 ページ） ● ベースステーションやルーターなど、接続している機器の電源は入ってますか？ ● プロキシサーバー経由で NetAV はできません。 ● ベースステーション側の機器登録リストから、今お使いの機器が削除されてませんか？ ベースステーション設定の機器登録リストを確認してください。（☞ 44 ページ） ● ベースステーションの初期化を行いましたか？ 行った場合は、機器登録の情報が削除されます。再度、機器登録からやり直してください。（☞ 44 ページ）

映像全般

症状	対処のしかた
色がつかない、おかしい。	ベースステーションに AV ケーブルおよびアンテナ線が正しく接続されているか確認してください。
画像は出るが音が出ない。	● ロケーションフリープレイヤーの音量が下がりきっていないか確認してください。 ● パソコンの音量が最小またはミュートになっていないか確認してください。
画像が映らない。	使用環境に応じて、「家の中でテレビを見る」（☞ 55 ページ）または「外出先からテレビを見る」（☞ 56 ページ）での対処のしかたを確認してください。
画像がひんぱんに止まってしまう。	使用環境に応じて、「家の中でテレビを見る」（☞ 55 ページ）または「外出先からテレビを見る」（☞ 56 ページ）での対処のしかたを確認してください。
ブロック状に見えることがある。	画像処理によるもので、故障ではありません。
レート変更時、画像が乱れる。	画像処理によるもので、故障ではありません。
通常のご利用時と比べ，画像や音がおかしくなった。	NetAV 接続を切断し、再度接続してください。

症状	対処のしかた
画像が歪む。	パソコンのビデオカード（グラフィックスカード）のドライバーを確認してください（☞ 34 ページ）
レートを切り換えると切断される。	NetAV 接続中に［レート変更］をクリックし、「自動」と「手動」を切り換えたり、「1」（一番低いレート）や「6」（一番高いレート）から他のレートに変更したり、その逆に他のレートから「1」や「6」に変更したときは、NetAV 接続がいったん切断され、その後再接続されます。 なお、LF-X5 のベースステーションに接続した場合は、以下のようになります。 • 「自動」は選択できません。 • NetAV 接続が切断され、再度接続されるのは、レート「1」からそれ以外のレートや、それ以外のレートから「1」に切り換えた場合のみとなります。

テレビ

症状	対処のしかた
画像が歪む。	パソコンのビデオカード（グラフィックスカード）のドライバーを確認してください（☞ 34 ページ）
テレビのチャンネルが 1 つも映らない（砂嵐のような画面が表示される）。	• アンテナ接続ケーブルをベースステーションにしっかりつないでください。（☞ 7 ページ） • 自動 CH 設定で近隣の違う地域を選び直してみてください。（☞ 30 ページ） • 「チャンネル設定変更」画面で受信チャンネルを変更してください。（☞ 32 ページ）
特定のチャンネルだけが映らない。	「チャンネル設定変更」画面で受信チャンネルを変更してください。（☞ 32 ページ）
ケーブルテレビのチャンネルが正しく映らない。	ベースステーションでは、C13 ～ C63 チャンネルに対応しています。それ以外のチャンネルやスクランブルがかかっているチャンネルをご覧になりたいときは、ホームターミナルをベースステーションのビデオ入力端子に接続してください。
画像が二重三重になる。	• アンテナ接続ケーブルをベースステーションにしっかりつないでください。（☞ 7 ページ） • アンテナの位置、方向、角度を調節してください。
雪が降るような画面、薄い画面。	• アンテナがこわれていたり曲がったりしていないか確認してください。 • ベースステーションがアンテナケーブルでアンテナに正しく接続されているか確認してください。 • 現在放送中のチャンネルを選んでいるか確認してください。
縞状のノイズが多い / 雑音が多い。	• テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。（☞ 7 ページ） • アンテナ接続ケーブルは他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

ビデオ

症状	対処のしかた
つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。赤、白、黄色、S 端子の配線も確認してください。(☞ 9 ページ) • パソコン用モニターなどのノンインターレース信号は表示できません。 • 正しい入力端子に接続されているか、確認してください。(☞ 9 ページ) • 外部機器の電源を確認してください。
画面上のリモコンで操作できない。	• AV マウスをベースステーションの AV マウス端子に正しくつないでください。(☞ 10 ページ) • AV マウスがリモコン受光部に向けて正しく設置されているか確認してください。(☞ 10 ページ) • リモコン受光部の近くに蛍光灯や太陽光などの強い照明があたっているときは離して置いてください。 • 電波状態が悪いとき、正しく動作しないことがあります。 • つないだ機器本体のボタンを使って操作できるか確認してみてください。または、リモコンの設定をやり直してください。(☞ 31 ページ)(画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。)動作確認済み機種については、ロケーションフリーテレビのホームページの「Q&A」(http://www.sony.co.jp/airboard/QA/)をご覧ください。 •「リモコン設定」画面で「ビデオ入力 1」と「ビデオ入力 2」のリモコンが正しく設定されていますか?

家の中でテレビを見る

症状	対処のしかた
操作に遅延がある。	• チャンネル切り換えや画面上のリモコン操作をネットワークを経由して行うため、反応するまで遅延が生じますが、仕様であり、故障ではありません。 • 実際の回線速度に対してレートが高すぎる場合は、さらに遅延が発生している可能性があります。レートを自動に設定するか、手動の場合はレートを下げて確認してください。
映像が止まったり、コマ落ちしたりする。	• NetAV 中に、他のワイヤレス LAN 機器がベースステーションに接続して通信していると、映像をスムーズに送受信できない場合があります。 • ワイヤレス LAN でパソコンがワイヤレスルーターまたはベースステーションと接続している場合、パソコンの無線 LAN 設定でパワーセーブモードが有効になっていると、映像をスムーズに送受信できない場合があります。パソコンの無線 LAN 設定を確認し、パワーセーブモードを無効にしてください。設定方法は、パソコンやワイヤレス LAN カードなど、ワイヤレス LAN 機器の取扱説明書をご覧ください。

症状	対処のしかた
NetAV 接続が突然切れる。	● セキュリティソフトがインストールされていませんか？ その場合はセキュリティソフトのファイアウォール機能により NetAV が切断される場合があります。 ● 回線の状況により、NetAV 接続が切断されることがあります。

外出先からテレビを見る

症状	対処のしかた
映像が止まったり、コマ落ちしたりする。	● NetAV はインターネットを利用して通信を行いますので、回線の混み具合によっては、映像をスムーズに送受信できない場合があります。 ●［レート変更］をクリックし、レートが自動になっていることを確認してください。手動になっているときは、自動を選択してください。
操作に遅延がある。	● チャンネル切り換えや画面上のリモコン操作をネットワークを経由して行うため、反応するまで遅延が生じますが、仕様であり、故障ではありません。 ● 実際の回線速度に対してレートが高すぎる場合は、さらに遅延が発生している可能性があります。レートを自動に設定するか、手動の場合はレートを下げて確認してください。
NetAV ができない。	**家の中では映っていたが、外出先からは映らない：** ● 外出先からテレビを見るための設定はされていますか？（☞ 18 ページ） ● ロケーションフリープレイヤーの画面左下にある［接続］をクリックしましたか？ **家の中ではパソコンからインターネットにはつながるが、外出先では画像が映らない：** ● 下りの回線の推奨速度は 300 kbps 以上です。お使いの回線をご確認ください。 ● 外出先でパソコンがインターネットにつながっていますか？ ● ロケーションフリープレイヤーの画面左下にある［接続］をクリックしましたか？
NetAV 接続が突然切れる。	● セキュリティソフトがインストールされていませんか？ その場合はセキュリティソフトのファイアウォール機能により NetAV が切断される場合があります。 ● 回線の状況により、NetAV 接続が切断されることがあります。

ベースステーション設定(共通)

症状	対処のしかた
ベースステーション設定画面が開けない。	● はじめてベースステーションに接続するときは、[ベースステーション設定]はクリックできません。まず最初に接続してみてください。 ● ベースステーションとパソコンが同じ LAN 上にないときは、[ベースステーション設定]はクリックできません。 ● ワイヤレス接続で[ベースステーション設定]がクリックできないときは、ワイヤレスネットワークがそのベースステーションの SSID とつながっているか確認してください。 ● プロキシが必要なネットワークにベースステーションを接続するときは、インターネットエクスプローラーの「インターネットオプション」の「接続」タブにある「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の[LAN の設定]の[詳細設定]で、プロキシを使用しないアドレスとしてベースステーションの IP アドレスを設定してください。詳しくはロケーションフリーホームページの「Q&A」(http://www.sony.co.jp/airboard/QA/)をご覧ください。 ● 有線 LAN で接続しているときに、ベースステーションの IP アドレスを誤って設定した場合には、ベースステーションと接続できなくなります。ワイヤレス接続で設定を変更するか、初期化を行ってください。
設定画面を開くためのユーザー名、パスワードが認証されない。	● アルファベットの大文字、小文字は合っていますか? 大文字、小文字は区別されます。 ● ユーザー名は正しいですか? ユーザー名は lfx(小文字)です。 ● パスワードは正しいですか? 初期パスワードはベースステーションの側面のシール上に記載されています。
設定画面を開くためのパスワードを忘れてしまった。	● 初期パスワードはベースステーションの側面のシール上に記載されています。 ● 自分で変更したパスワードを忘れた場合は、ベースステーションの初期化が必要です(☞ 50 ページ)。初期化後はベースステーションの側面のシール上に記載された初期パスワードを入力してください。

かんたん設定

症状	対処のしかた
ベースステーションのネットワークランプが点灯しない。	「ベースステーション」の「ベースステーションのネットワークランプが点灯しない」の項目(☞ 52 ページ)を確認してください。
NetAV ランプが橙色に点滅した後、消灯せずに橙色に点灯してしまう。	モデムやルーターの電源と接続を確認してください。
NetAV テストの画面が表示されない。	「ベースステーション」の「ベースステーションのネットワークランプが点灯しない」の項目(☞ 52 ページ)を確認してください。
NetAV ランプが緑色に点灯したままになっている。	他の機器が NetAV 接続しています。

症状	対処のしかた
NetAV テストに失敗する。	NetAV テストの画面内に表示された内容にしたがって、設定を確認し、NetAV テストをやり直してください。

詳細設定

症状	対処のしかた
設定画面で設定したとたんに、設定画面が表示されなくなった。	● 有線 LAN でベースステーションの設定を行っている場合は、「回線設定」から IP アドレスを変更したときは、設定画面にアクセスできなくなります。その場合は、「ベースステーションの選択」画面から［ベースステーション設定］を選び直してください。 ●［設定終了］をクリックした場合は、ベースステーションを自動的に再起動します。もう一度ベースステーションの設定を確認したいときは、以下を確認してください。 **ワイヤレスでベースステーションに接続していた場合：** ベースステーションへのワイヤレス接続をやり直し、「ベースステーションの選択」画面から［ベースステーション設定］をクリックしてください。 **有線 LAN でベースステーションに接続していた場合：** ベースステーションをセットアップモードにしたあと、「ベースステーションの選択」画面から［ベースステーション設定］をクリックしてください。

- インターネットの接続についてのご質問は、ご利用の回線事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- よくある質問についてのページ　**http://www.sony.co.jp/airboard/QA/**

保証書とアフターサービス

本機の保証書およびアフターサービスは日本国内においてのみ有効です。本機は日本の放送規格に合わせてつくられており、放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときはロケーションフリー カスタマーサポートセンターへ

ロケーションフリーカスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。
インターネットの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

修理について

当社では、当社指定業者がお客様宅にうかがい、ベースステーション、AC パワーアダプターを合わせて引取修理します。
修理完了後に、再度お届けします。詳しくは、本取扱説明書裏表紙の「ご案内」をご覧ください。なお、修理の際に設定情報が消えてしまう可能性がありますので、必要な情報は控えておくようにしてください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により日本国内にて有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ロケーションフリーカスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

部品の交換について

この商品は、修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意を頂いた上で回収させて頂きますので、ご協力ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名：　LF-PK1
製造番号：　ベースステーション側面または保証書に記載されています
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店
TEL.

Warranty and customer support are provided for customers in Japan only. This product is designed for Japanese broadcasting standards and cannot be used in any other country.

その他

主な仕様

LF-PK1

ロケーションフリーベースステーション　LF-B1

システム

受信方式　NTSC 方式
受信チャンネル　VHF 1 ～ 12 チャンネル
UHF 13 ～ 62 チャンネル
CATV C13 ～ C63 チャンネル
選局方式　PLL シンセサイザー方式

入出力端子

VHF/UHF 端子　VHF/UHF 75 Ω F 型コネクター
ビデオ入力 1 端子
S 映像：4 ピンミニ DIN
Y：1 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
C：0.286 Vp-p（バースト信号）、75 Ω
映像：ピンジャック、1 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2 チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ
ビデオ入力 2 端子
映像：ピンジャック、1 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2 チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ
DC IN 端子　DC（12 V）
LAN 端子　10BASE-T/100BASE-TX、RJ45 コネクター（1）
AV マウス出力　ミニジャック（1）

AC パワーアダプター　AC-LX1B

電源　AC100 V ～ 240 V、50/60 Hz、70 VA
定格出力　DC12 V、3 A
動作温度　0 °C ～ 35 °C
保存温度　－ 10 °C ～＋ 60 °C
最大外形寸法　約 99.5 × 25.5 × 49.5 mm（幅×高さ×奥行き、最大突起部含まず）
質量　約 180 g

電源部・その他

消費電力　約 15 W（テレビ視聴時）
約 0.7 W（電源オフ、AC パワーアダプター装着時）
動作温度　0 °C ～ 35 °C
保存温度　－ 10 °C ～＋ 60 °C
最大外形寸法　約 46 × 182.8 × 128.3（mm）（背面突起部含まず）
質量　約 470 g
準拠規格　IEEE802.11 a/b/g
使用周波数帯　2.4 GHz 帯：1,6,11ch
5 GHz 帯：36,40,44, 48ch(W52)
変調方式　DS-SS/OFDM
電源　AC パワーアダプター使用時：100 V、50/60 Hz
付属品　**LFA-PC2、LF-PK1 の両方に入っているもの**
- かんたん準備ガイド（1）
- ダイナミック DNS 利用に関するお知らせ（1）

LFA-PC2 に入っているもの
- ロケーションフリープレイヤー PC 用ソフトウェア CD-ROM（1）
  - ロケーションフリープレイヤー LFA-PC2
  - 取扱説明書
  - ライセンス文
- ロケーションフリープレイヤーシリアルキー（CD-ROM ケースに記載）

その他

LF-PK1 に入っているもの

- ロケーションフリー
  ベースステーション LF-B1（1）
- AC パワーアダプター AC-LX1B（1）
- 電源コード（1）
- スタンド（1）
- アンテナ接続ケーブル（1）
- AV マウス（1）
- ロケーションフリープレイヤー PC 用
  ソフトウェア CD-ROM
  30 日お試し版*（1）
  - 取扱説明書
  - ライセンス文
- 保証書（1）
- 安全のために（1）
- 「使用上のご注意」シール（1）

* LF-PK1 に付属しているロケーションフリープレイヤーソフトウェアは 30 日間お試し版です。引き続きお使いいただく場合は、ロケーションフリープレイヤー LFA-PC2 をお買い求めください。

別売りアクセサリー

映像・音声コード YC-810S
プラグアダプター PC-230M
AV マウス延長ケーブル RK-G131（3 m）
AV マウス VM-50
アンテナ接続ケーブル EAC-D15SS など

2005 年 8 月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ろ

わ

商標などについて

- ロケーションフリーはソニー株式会社の登録商標です。
- 3ivx MPEG-4 audio and video compression technologies by 3ivx Technologies.
   3ivx is an international trademark.
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  Windows® XP、Windows® 2000 Professional は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
  本マニュアルでは下記のように省略して記載している場合があります。ご了承ください。
  Windows® XP は Windows XP
  Windows® 2000 Professional は Windows 2000
- Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

その他

ご案内

本製品に関するお問い合わせは「ロケーションフリーカスタマーサポートセンター」へ

ロケーションフリーカスタマーサポートセンター

- **ナビダイヤル** **0570-05-0005**
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHS でのご利用は** **0191-31-8595**
  受付時間：月～金　午前 9 時～午後 6 時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
- **よくある質問についてのページ** .... **http://faq.sonydrive.jp/**

ケーブルモデムや ADSL モデムの設定、インターネットへの接続など、ネットワークへの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。

万一不具合が生じた場合は

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記のロケーションフリーカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、当社指定宅配業者がお客様宅まで伺い、引取修理をさせていただきます。その際には、故障箇所にかかわらず、ベースステーションと AC パワーアダプターを合わせて、お渡しください。

ロケーションフリーテレビのホームページ

- **http://www.sony.co.jp/locationfree/**

ソニー株式会社　〒 141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35